

取扱説明書



BERNINA 325

BERNINA
made to create

当社は誇りをもって、お客様に素晴らしいソーイング体験をお届けします。



1893年以来、ベルニナは非常に優れた品質を象徴してきました。伝統的なスイス企業として、当社は高品質の素材によって製品を製造し、多種多様な試験を実施して、高性能と長寿命を保証しています。当社は数十年にわたって常に企業哲学を守り続け、自ら素晴らしいソーイング体験をお届けすることに邁進してきました。

ベルニナ製品はすべて、ハードウェアとソフトウェアの両方の技術革新が支える最先端の技術が特徴です。これは、当社がお客様に創造的なプロセスを存分に楽しんでいただきたいと心から願っているためです。創造性、クリエイティビティとは、自分のアイデアを自分や周りの人々を幸せにする何かに変えることだからです。

このことを念頭に置き、お客様がBERNINA 325とともに幾多の楽しいひとときを過ごされることを願っています。

A handwritten signature in black ink that reads "H. P. Ulrich". The signature is written in a cursive, flowing style.

敬具
ハンスペーター・ウルチ
オーナー、ベルニナ

重要な安全上の注意事項.....	4	メンテナンス	
一般機能.....	6	8 メンテナンスとケア.....	44
マイベルニナ		8.1 ソフトウェア.....	44
1 ベルニナワールドへようこそ.....	7	8.2 ミシン.....	44
2 ご紹介.....	8	9 トラブルシューティング.....	48
2.1 ミシン.....	8	10 エラーメッセージ.....	51
2.2 アクセサリー.....	11	11 収納と処分.....	52
2.3 ユーザーインターフェースの概要.....	12	11.1 ミシンを収納する.....	52
2.4 ヘルプとコンサルタント.....	14	11.2 ミシンを処分する.....	52
3 ミシンのセットアップ.....	16	12 技術データ.....	53
3.1 初めてミシンをご使用になる前に.....	16	付記	
3.2 作業エリア.....	16	13 ステッチパターン.....	54
3.3 ミシンを接続し、スイッチを入れる.....	16	13.1 実用縫い.....	54
3.4 ソーイングのためにミシンを準備.....	16	13.2 飾り縫い.....	54
3.5 フットコントローラー.....	16	13.3 ボタンホール.....	55
3.6 スライド式ソーイングテーブル.....	17	13.4 キルトステッチ.....	55
3.7 針板.....	17	索引.....	56
3.8 針.....	18		
3.9 上糸.....	21		
3.10 下糸.....	24		
3.11 押え金.....	25		
3.12 布地送り.....	27		
3.13 ミシンの設定.....	27		
3.14 個人設定.....	28		
3.15 ソーイング設定.....	28		
縫製			
4 ソーイング画面.....	29		
4.1 ステータスバー.....	29		
4.2 ステッチの選択.....	30		
5 ステッチの概要.....	31		
5.1 実用縫い.....	31		
5.2 飾りステッチ.....	33		
5.3 アルファベット.....	33		
5.4 ボタンホール.....	34		
5.5 キルトステッチ.....	35		
6 ステッチパターンの準備と編集.....	36		
6.1 ステッチパターンのロード.....	36		
6.2 ステッチパターンの編集.....	36		
6.3 ボタンホール.....	37		
6.4 繕い縫いプログラム.....	39		
6.5 ステッチパターン管理.....	40		
6.6 ステッチパターンのコンビネーション.....	40		
7 ソーイングテクニック.....	43		

重要な安全上の注意事項

当製品を使用するときは、次の基本的な安全上の注意に従ってください。当製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読んでください。

危険

感電を防ぐために、以下の指示に従う必要があります。

- ▶ ミシンが電源に接続されているときは、絶対にミシンから目を離さないでください。
使用後すぐ、および清掃する前はミシンの電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

けがを防ぐために、以下の指示に従う必要があります。

- ▶ 光学機器（拡大鏡など）でLEDランプを直接見ないでください。
LEDランプの破損または故障の場合は、最寄りのBERNINA販売店に点検または修理を依頼してください。
- ▶ 針周りで作業する前に、ミシンの電源を切ってください。
- ▶ ミシンを起動する前に、すべてのカバーを閉じてください。

警告

火傷、火災、感電、または人身事故を防ぐため、以下の注意事項を厳守してください。

一般事項

- ▶ 本製品は、本取扱説明書に記載された目的以外では使用しないでください。

使用環境

- ▶ 本製品は屋外で使用しないでください。
- ▶ 本製品は乾燥した室内でのみご使用してください。
- ▶ 本製品は湿気の多い場所では使用しないでください。
- ▶ エアゾール製品（スプレー）を使用している室内で、本製品を使用しないでください。

- ▶ 酸素を使用している室内で、本製品を使用しないでください。

技術的条件

- ▶ 本製品は、湿気のある条件下では絶対に使用しないでください。
- ▶ 本製品が正常に動作しない場合は、本製品を使用しないでください。
- ▶ ケーブルまたはプラグが損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- ▶ 本製品を落としたり、破損したり、水の中に落としたりした場合は、本製品を使用しないでください。
- ▶ 本製品が破損したり、正常に動作しない場合は、最寄りのBERNINA販売店で本製品の点検または修理を受けてください。
- ▶ 本製品のすべての通気孔とフットコントローラーに糸くずやほこり、布地のごみが付いていないようにしてください。
通気孔が塞がっている場合は、本製品を使用しないでください。

アクセサリーと消耗品

- ▶ ベルニナ社推奨のアクセサリーのみをご使用ください。
- ▶ 必ず純正品のBERNINA針板を使用してください。
不適切な針板を用いると、針折れの原因になります。
- ▶ 高品質の直針のみを使用してください。
曲がった針や破損した針は、針折れの原因となります。
- ▶ 本製品は二重絶縁されています。
純正のスペアパーツのみを使用してください。
二重絶縁された製品のメンテナンスに関する注意事項を参照してください。
- ▶ 本製品の潤滑油としては、BERNINA 推奨のオイルのみをご使用ください。

適切な使用

- ▶ 本製品は、8歳以上のお子様、身体的、感覚的、精神的能力が低下している方、あるいは経験や知識が不足している方でもご使用、清掃、メンテナンスを行っていただくことが可能です。

重要な安全上の注意事項

このような方は、本製品を使用する際に監督を受ける、または本製品の安全な使用方法とそれに伴う危険性について認識していることが必要となります。

- ▶ ミシンはお子様の手の届かないところへ保管してください。
本製品をお子様を使用される場合や、お子様がいらっしゃる場面で使用される場合には、特に注意が必要です。
- ▶ 本製品に付属の電源コード以外は使用しないでください。
アメリカ合衆国およびカナダ用の電源コード（NEMA 1-15型電源プラグ）は、対地電圧が150V以下でご使用ください。
本製品を原産国以外の国で使用する場合は、その国に適した電源ケーブルをBERNINA販売店から入手してください。
- ▶ 本製品に付属のフットコントローラー型式 RR1 以外は使用しないでください。
- ▶ ミシンの隙間から物を差し込んだりしないでください。
- ▶ フットコントロールの上に物を置かないでください。
- ▶ 縫製中は徐々に布地を動かすようにしてください。生地を引っ張ったり押したりすると針が折れる場合があります。
- ▶ ミシンの可動部分に触らないようご注意ください。
針周辺については特にご注意ください。
- ▶ 本製品を持ち上げるときは、必ずハンドルを使用してください。
- ▶ 針に糸を通す、針を交換する、ルーパーに糸を通す、押え金を交換するなど、針周りの作業を行う際には、ミシンのスイッチを切ってください。
スイッチを切るには、メインスイッチを«0»にします。
- ▶ 保護カバーを外したり、ミシンに注油するとき、または本取扱説明書に記載されているその他の清掃やメンテナンス作業を行うときは、本製品のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ▶ プラグを持ってコンセントから引き抜きます。コードを引っ張らないようにしてください。

これらの指示を保存する

ミシンの安全記号

記号

意味



注意: 機械を操作する前に、ドア、蓋、カバーを閉めてください。

可動部分に注意。怪我のリスクを軽減するために、修理の前にミシンの電源を切ってください。カバーを装着する。

この取扱説明書について

この簡易マニュアルはミシンに付属しています。



- ミシンの簡易マニュアルをミシンの近くの適切な場所に保管し、いつでも読めるようにしておいてください。

- 詳細な取扱説明書の最新版は、

www.bernina.com/325-supportからダウンロードできます。

- ミシンを第三者に譲渡する場合には、ミシンの簡易マニュアルを添えてください。

使用目的について

ご使用のBERNINAミシンは、ご家庭での私的利用を目的として設計されています。取扱説明書に記載されている素材、生地へのソーイングに使用してください。その他の使用方法は当ミシンの使用目的に適用されず、それにより生じた損害において、ベルニナはその責を一切負いません。

装備と納品範囲

このマニュアルでは、説明のためにサンプル画像が使われています。図に表示されたミシンと付属品はミシンの実際の納品範囲と必ずしも一致しません。付属アクセサリーの仕様は配送先の国により異なります。納品範囲に含まれない言及または表示された付属品は、オプションアクセサリーとしてBERNINA販売代理店から入手できます。その他のアクセサリーについては、www.bernina.com/325#!accessoriesを参照してください。

技術的理由並びに製品改善の目的のため、ミシンの装備と納品範囲に関する変更は、いつでも事前の通知なしに行われる可能性があります。

ベルニナの品質管理について

全てのベルニナミシンは、細心の注意を払って製造しており、様々な機能の検査を実施しています。製品検査の工程でソーイングのテストをするため、内蔵のステッチカウンターはすでに数ステッチをカウントしています。製品検査の後、ミシンのクリーニングを行っていますが、まれに糸くずなどが残ってしまう場合があります。

二重絶縁構造の製品のメンテナンスについて

二重絶縁構造の製品には、アースをとる方法の代わりに、二種類の絶縁方法が採用されています。二重絶縁構造の製品にはアースはなく、また取り付ける必要もありません。二重絶縁構造の製品のメンテナンスには細心の注意と豊富な知識が必要です。資格のある専門の方のみが行ってください。メンテナンス・修理の際には純正部品のみを使用してください。製品には二重絶縁または二重絶縁構造と表示されています。

- 二重絶縁構造の製品にはこの表示がされていません。

環境保護について

ベルニナインターナショナル株式会社は環境保護に準じることを宣言しています。私達は製品の製造に当たって、製品デザインの改良、技術革新などによって製品が環境に与える影響を最小限にする努力を常に行っております。



ミシンにはゴミ箱マークが記載されています。つまり、処分することとなった場合には、家庭ごみと一しょに処分しないでください。電化製品を不適切な方法で廃棄すると、有害物質が流出することがあり、それが地下水を汚染し、食物連鎖によってやがて自分自身の健康を害することになります。

当製品が不要になった場合には、お住まいの地域のルールに従って処分、リサイクルをしていただけますようお願い申し上げます。詳しい処分方法につきましては、お住まいの市町村にお尋ねください。新しいミシンをお求めの際には、販売店で古いミシンを回収している場合もありますので、お尋ねください。

ミシンを処分される際には、あらかじめユーザーデータを消去してから処分してください。

記号について

⚠ 危険

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が非常にあります。

⚠ 警告

誤った扱いをすると、重症を負う危険があります。

⚠ 注意

誤った扱いをすると、軽症から中度の傷害を負う危険があります。

注意

誤った扱いをすると、物的損害が発生する恐れがあります。

ヒント

ベルニナソーイング専門家からのヒント。

1 ベルニナワールドへようこそ

BERNINA 325の目的は裁縫とキルティングです。このミシンでは、上質なシルクやサテンの生地だけでなく、厚手のリネン、フリース、デニムの生地も問題なく縫うことができます。実用的なステッチ、装飾ステッチ、ボタンホールなど、幅広いステッチがご利用いただけます。

詳細情報

 BERNINA 325のほかに、さらに詳しい商品情報も同封しております。
 マニュアルの最新版、およびミシンとアクセサリに関する詳細情報は、当社のWebサイトに掲載されています。

bernina.com

「Made to Create」はベルニナのスローガンです。当社のミシンは、あなたのアイデアを実現するのを支えるだけでなく、プロジェクトに関するその他の提案や方法を提供し、また、他のソーイング、キルティング、刺しゅうの愛好家とアイデアを交換する機会も提供します。お楽しみいただくと幸いです。

ベルニナYouTubeチャンネル

 YouTubeでは、当社のミシンの最も重要な機能に関するさまざまな操作方法の動画とサポートを提供しています。作品の縫製を成功に導く押え金やアクセサリの詳しい説明もご覧いただけます。

youtube.com/BerninaInternational

英語とドイツ語でご利用いただけます。

「インスピレーション」 - クリエイティブなソーイングマガジンとソーイングパターンのオンラインストア

 素晴らしい作品を縫製するためのアイデア、縫製パターン、および作成手順をお探しですか? ベルニナの「インスピレーション」マガジンがぴったりです。インスピレーションでは、年に3回、素晴らしい裁縫や刺しゅうのアイデアをお届けします。季節ごとのファッショントレンドから流行のアクセサリ、実用的なヒント、ご自宅のオリジナルデコレーション、お子様向けのかわいい裁縫アイデアまでの豊富な内容です。

この雑誌は英語、ドイツ語、オランダ語、フランス語で出版されています。

当社のオンラインショップでは、「インスピレーション」を電子雑誌または印刷版として、個別号または定期購読にてご購入いただけます。さらに、ダウンロード可能な個別のパターンも多数あります。こちらでぜひご覧ください:

inspiration.bernina.com

インスタグラム (@inspiration.sewing.magazine) でフォローしてください。

BERNINAブログ

 洗練された取り扱い説明、無料の縫製パターンと刺しゅうデザイン、その他豊富な新しいアイデアがベルニナのブログで毎週更新されています。私たちのエキスパートが、希望通りの仕上がりを実現するための役に立つコツなどをわかりやすく説明します。コミュニティでは、自分

のプロジェクトをアップロードして、他のソーイング、刺しゅう愛好家たちと経験とアイデアを交換できます。

bernina.com/blog

英語、ドイツ語、オランダ語、フランス語でご利用いただけます。

ベルニナソーシャルメディア

 ソーシャルネットワークをフォローして、縫製、キルティング、刺しゅうに関するイベント、エキサイティングなプロジェクト、ヒントやコツなどについて詳しく学びましょう。今後もお客様に情報をお伝えし、ベルニナの世界のハイライトをお届けできることを楽しみにしています。

bernina.com/social-media

BERNINA World App

 ベルニナアプリをスマートフォンにダウンロードすると、すべての製品情報に直接アクセスできます。アクセサリオーガナイザーを使用すると、現在お持ちのアクセサリや必要なアクセサリの概要を把握できます。さらに、お客様ポータル、ブログ、および「インスピレーション」オンラインストアに直接アクセスでき、いつでもお近くのベルニナ販売店を見つけることができます。このアプリは、Apple AppストアとGoogle Playストアで入手できます。

bernina.com/app

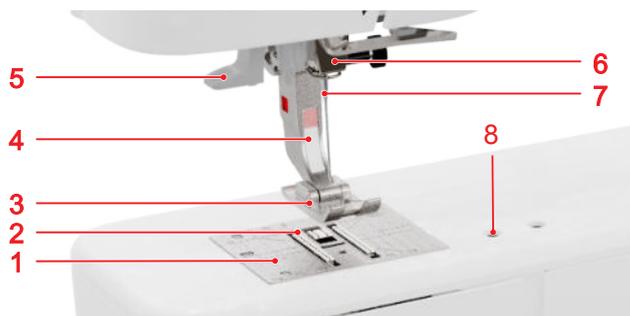
2.1 ミシン

前面



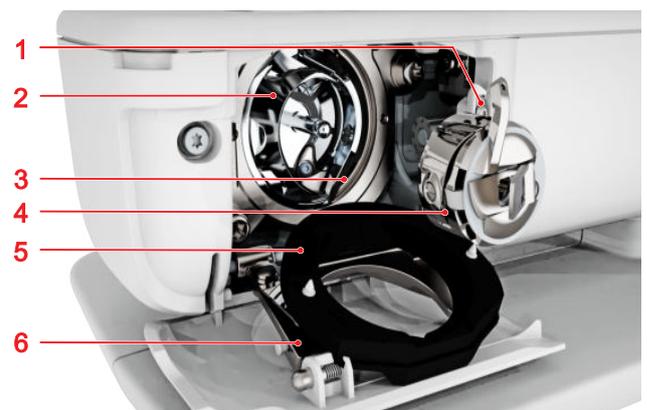
1 釜カバー 2 糸切り 3 天秤 4 糸ガイド、巻き取り機 5 テンションディスク 6 垂直糸こま押さえ 7 糸切り付きボビン巻き取りユニット 8 USBポート 9 送り歯上/下

針部分



1 針板 2 送り歯 3 押え金底 4 押え金シャフト
5 糸通し器 6 針ホルダー 7 針 8 アクセサリコネクタ

ボビン部分



1 糸切り 2 剣先 3 フックレース 4 ボビンケース
5 釜カバー 6 ロッククリップ

背面



1 フットコントローラー用接続 2 電源スイッチ 3 通気孔 4 はずみ車 5 水平糸立て棒 6 糸ガイドアイレット 7 糸ガイド、背面 8 キャリングハンドル 9 押え金リフター 10 電源コード接続

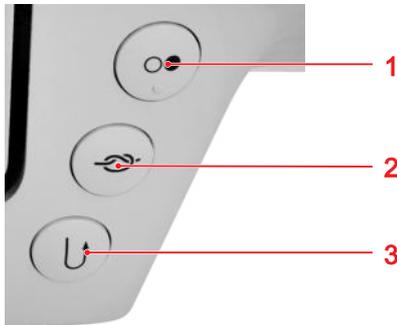
コントロール



1 針の上の外部ボタン 2 左コントロール 3 画面 4 右コントロール

2 ご紹介

針の上の機能ボタン



1 スタート/ストップ 2 タイオフ 3 返し縫い

スタート/ストップ

スタート/ストップ ボタンを使用してミシンを始動/停止させることができます。

タイオフ

タイオフ ボタンを押すと、指定した数の留め縫いを自動で行うことができます。

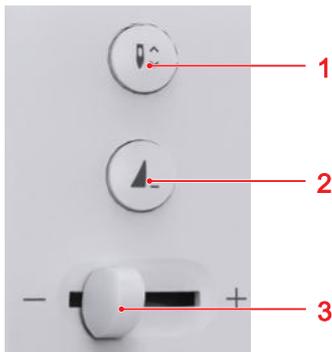
縫う前にボタンを押すと、縫い始めに留め縫いが縫い付けられます。

縫製中にボタンを押すと、すぐに留め縫いが行われ、ミシンが停止します。

返し縫い

返し縫い ボタンを使用すると、ボタンを押している間逆方向に縫うことができます。

左コントロール



1 針位置上下機能 2 模様縫い機能 3 スピードコントロール

スピードコントロール

スピードコントロールでソーイングスピードを調節できます。

ソーイング中によりよく見えるようにするために、設定で最大ソーイングスピードを調整できます。

模様縫い機能

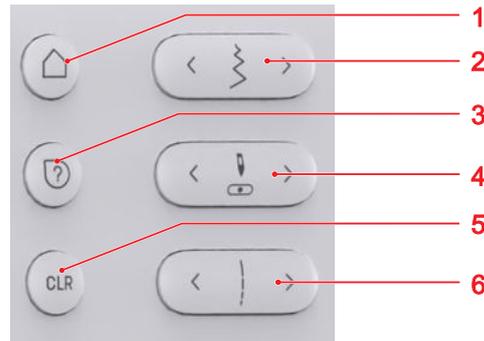
模様縫い機能 ボタンを押すと、ステッチパターンまたはステッチパターンの組み合わせの終了時にミシンが自動的に終了します。

針位置上下機能

針位置上下機能 ボタンを押すと、針を上げたり下げたりできます。

開始位置に応じて、針が上がったり下がったりします。

右コントロール



1 ホーム画面 2 振り幅 3 クイックヘルプ 4 針位置 左/右 5 リセット 6 送り長さ

ホーム画面

ホーム画面 ボタンを押すと、スタートページを呼び出すことができます。[▶ 参照ページ: 13]

ステッチの幅

ステッチの幅 ボタンを押すと、ステッチ幅や機能の値を設定できます。

クイックヘルプ

クイックヘルプ ボタンを押すと、画面上の要素をタップしたときにその要素に関するヘルプが表示されます。[▶ 参照ページ: 14]

針位置 左/右

針位置 左/右 ボタンを使用して、針を左、右に移動できます。

針位置は、ソーイング画面に表示されます。負の値は左への移動を示し、正の値は右への移動を示します。

ステッチの長さ

ステッチの長さ ボタンを押すと、ステッチの長さや機能の値を設定できます。

消去

消去 CLR ボタンを押すと、次の設定をデフォルト値にリセットできます：

ソーイングモード

- 選択したステッチの送り長さとは振り幅
- 反転
- 模様繰り返し
- バランス機能
- プログラムされたボタンホール長さ
- 縷い縫いプログラム設定
- 連続リバース

2 ご紹介

2.2 アクセサリー

付属のアクセサリーとオプションのアクセサリーについての、その他の情報とアプリケーション上の注意事項は、以下を参照してください。

www.bernina.com/325#!accessories

付属アクセサリー

アクセサリー	用途
--------	----

保護カバー



ほこりや汚れからミシンを保護します。

アクセサリーバッグ



付属アクセサリーおよびオプションアクセサリーを保管します。

電源コード



ミシンと電源を接続します。

フットコントローラー



ミシンをスタート、ストップさせます。
ミシンのスピードをコントロールします。

アクセサリー

用途

1× クッション付き糸こまカバー



クッション付き糸こまカバーは、糸がスプールピン上で滑ったり、絡まったり、切れたりするのを防ぎます。

3× CBフック用ビン



下糸を巻きます。

高さ補正ツール (高さ調節板)



厚い縫い目を縫うときに、押さえ足底の角度を水平にします。

シームリッパー



縫い目をほどき、ボタンホールを切り開きます。

針セット



最も一般的な縫製用途向け。

2 ご紹介

アクセサリ

用途

ブラシ

送り歯とボビン部分を清掃します。



ミシン用オイル

ミシンに油をさします。



スライド式ソイ
ングテーブル

縫製面を増やします。



同梱の押え金ソール

押え金

用途

スナップオンシャ
フト #78

交換可能なスナップオン・ソールを取り付けるために。



逆パターンソール
#1

実用縫いと装飾ステッチに。前進縫いと返し縫いのために。コーデューロイ、デニム、ウールなどの生地。



押え金

用途

オーバーロックソール #2

ストレッチ生地が目立つ縫い目に。かがり縫いと袋縫いに。



ボタンホールソール #3

コード付きまたはコードなしのボタンホールを手作業で縫う場合に。糸または伸縮性のある糸を使用したギャザリング（スモッキング）に。



ジッパーソール #4

ファスナーの縫い付け、盛り上がった縫い目の横のトップステッチ用。組紐、ケダ一、面ファスナーの縫い付けに。



ブラインドステッチソール #5

裾のまつり縫い、縁かがり縫い、押えの左右のトップステッチ用。



2.3 ユーザーインターフェースの概要

操作

ユーザーインターフェースは、指またはスタイラスを使用してタッチ感応スクリーンで操作できます。

2 ご紹介

タッチジェスチャーによる操作

一本指のジェスチャー

タップ ■ 機能またはステッチパターンを選択



ドラッグ ■ メニュー、ウィンドウ、バーでのスクロール



ナビゲーション

縫製モードでは、設定とコンサルタントのナビゲーションパス  に現在の内容が表示され、パスの特定のレベルに戻ることができます。

機能の有効化/無効化

機能のオン/オフは次の方法で切り替えることができます。

■ スイッチをタップ



- 緑：機能がオンになっています。
- 赤：機能がオフになっています。

■ アイコンをタップ

- 白枠：機能がオンになっています。
- グレー：機能は使用できません。
- 黄枠：機能または値がデフォルト値から外れています。

値の設定

値は次の方法で設定できます。

■ スライダー



スライダーコントロールを使用して値を設定するか、小さな丸をタップして値をデフォルトにリセットします。

■ プラスとマイナスのアイコン

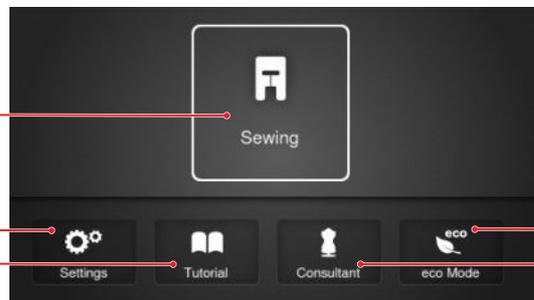


変更された値は黄色でマークされます。黄枠のフィールドをタップすると、変更した値をデフォルト値にリセットできます。



ホーム画面

ホーム画面



1 縫製 2 エコモード 3 コンサルタント 4 チュートリアル 5 設定

モード

メインモードを使用すると、マシンの最も重要な機能にすばやくアクセスできます。

縫製

縫製  モードでは、実用的かつクリエイティブな縫製に必要な機能が見つかります。

設定

設定  モードでは、ソーイング設定の変更、メンテナンス作業の実行、ファームウェアの更新が可能です。

チュートリアル

チュートリアル  機能を使用すると、さまざまな縫製技術、機械の特徴、トラブルシューティングに関する情報と説明を入手できます。

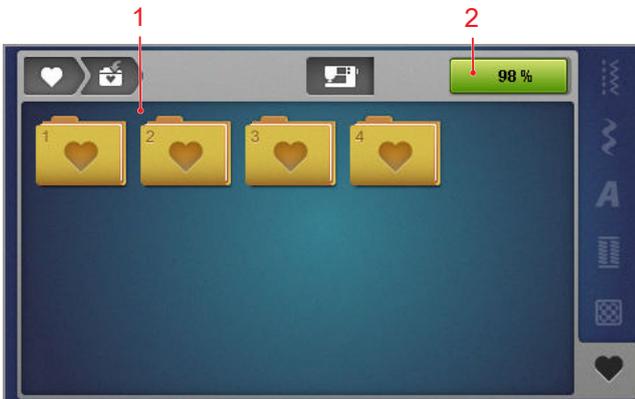
コンサルタント

コンサルタント  機能を使用すると、さまざまなソーイングのテクニックやキルティングのテクニックのために、マシンの準備をしたり設定する方法に関する推奨事項を参照することができます。

エコモード

エコモード  機能により、画面とソーイング機能をロックできます。

ファイル管理



1 フォルダの概要 2 USBストレージスペース

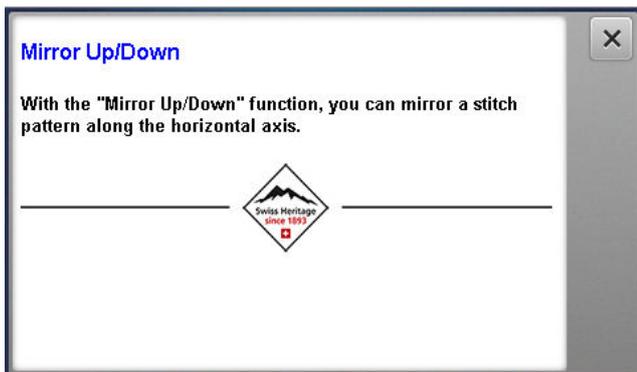
個人フォルダ ♥ フォルダで独自のステッチパターンを管理できます。独自のステッチパターンを保存、読み込み、または削除できます。ステッチパターンをフォルダに整理できます。

USBストレージスペース

このディスプレイUSBストレージスペースは、使用可能な空きメモリー容量を表示します。

2.4 ヘルプとコンサルタント

クイックヘルプ



クイックヘルプ ⓘ ボタンを押すと、アイコン、ボタン、画面全体の領域など、多くの画面要素の簡単なヘルプを呼び出すことができます。

- クイックヘルプ ⓘ アイコンをタップします。
- ヘルプが必要な画面要素をタップします。
⇒ その画面要素のクイックヘルプが表示されます。

コンサルタント

ホーム画面 ◁ ▶ コンサルタント ⓘ



コンサルタント ⓘ 機能を使用すると、さまざまなソーイングのテクニックやキルティングのテクニックのために、ミシンの準備をしたり設定する方法に関する推奨事項を参照することができます。選択したテクノロジーに応じて、異なる推奨事項が表示されます。



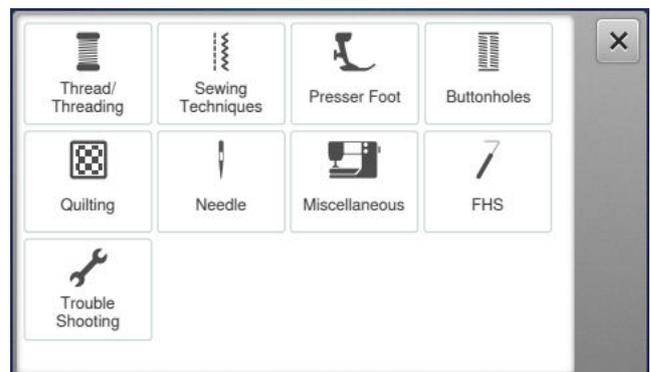
1 推奨針 2 推奨糸 3 推奨上糸調子 4 推奨ステッチパターン 5 推奨押え金 6 推奨安定紙 7 詳細情報

設定の適用 ✓ アイコンから、以下の設定を適用することができます：

- 推奨ステッチパターン

チュートリアル

ホーム画面 ◁ ▶ チュートリアル ⓘ



2 ご紹介

チュートリアル機能を使用して、さまざまなソーイング技術、ミシンの特徴、トラブルシューティングに関する情報と説明を参照できます。

3 ミシンのセットアップ

3.1 初めてミシンをご使用になる前に

ヒント

ベルニナでは、ミシンを初めて使用する場合や長期間使用しなかった場合には、フックに潤滑油を差すことをお勧めします。[▶ 参照ページ: 47]

フックに潤滑剤を塗ると、ミシンはスムーズかつ静かに作動します。

3.2 作業エリア

最適な縫製結果を得るための前提条件は、しっかりした台と安定したテーブルです。ソーイングテーブルの人間工学は、背中、肩、腕、手の筋肉および関節を保護するために重要です。最適な人間工学の推奨事項には、身体の姿勢とテーブルの高さが一致していることも含まれます。長い時間に渡って同じ姿勢をとることを避けてください。

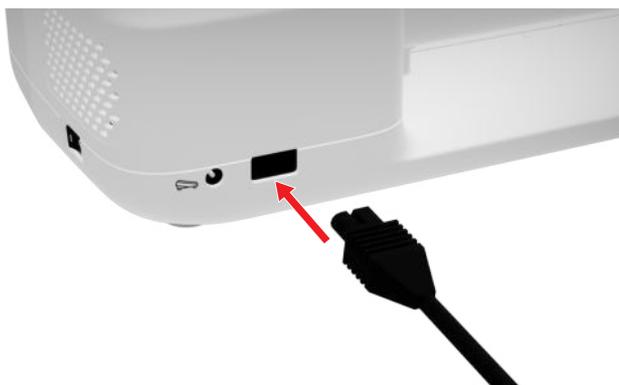
ミシンは、立っている状態でも操作できます。

正しい座り方

腕を曲げて(90°)、ゆったりした座り方で指先が針板に触れるぐらいにします。

3.3 ミシンを接続し、スイッチを入れる

1. コードをミシンにつなぎます。



2. 電源コードの電源プラグをソケットに差し込みます。
3. メインスイッチでミシンのスイッチをオンにします。

3.4 ソーイングのためにミシンを準備

ソーイングプロジェクトに応じてミシンを準備し、設定する必要があります。

前提条件：

- ミシンの電源が入っています。

- ソーイング設定が完了します。[▶ 参照ページ: 28]
- フットコントローラーが接続されています。[▶ 参照ページ: 16]

1. 必要に応じてソーイングテーブルを取り付けます。[▶ 参照ページ: 17]
2. スタートページからソーイングモードを選択します。[▶ 参照ページ: 13]
⇒ ソーイング画面が表示されます。
3. 適切な針板を使用します。[▶ 参照ページ: 18]
4. 適切な縫い針を使用します。[▶ 参照ページ: 20]
5. 適切な押え金を取り付けます。[▶ 参照ページ: 26]
6. ステッチパターンを準備して編集します。[▶ 参照ページ: 36]
7. 適切なボビン糸を通します。[▶ 参照ページ: 25]
8. 適切な上糸を通します。[▶ 参照ページ: 21]

ヒント

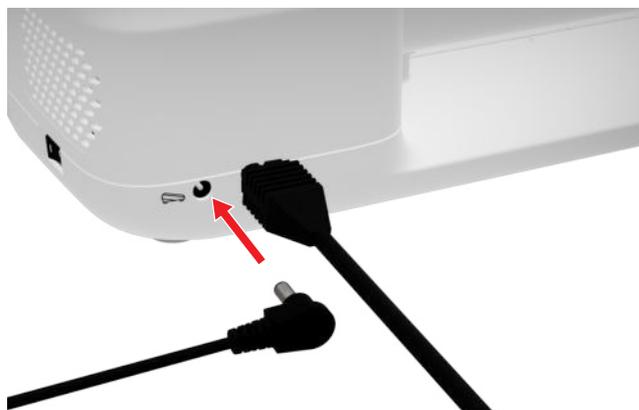
コンサルタントは、特殊なソーイング技術や生地に合わせて、押え金、針、材料、ソーイング設定を推奨します。[▶ 参照ページ: 14]

3.5 フットコントローラー

前方のフットコントローラーを足の指の付け根で操作できます。足の指の付け根で押すと、ミシンの始動と停止ができ、コントローラーに加える力の量で速度を制御できます。

フットコントローラーを接続します。

1. 使用したい長さまで、フットコントローラーのコードをほどこきます。
2. コードのプラグをミシンのフットコントローラーのソケットに差し込みます。

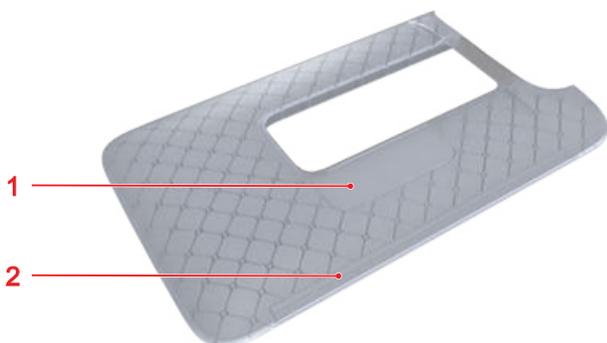


3. ソーイングに適した位置で、フットコントローラーを床に置きます。
4. コードが長すぎる場合、余分なコードを巻いておきます。

3 ミシンのセットアップ

3.6 スライド式ソーイングテーブル

ソーイングテーブルによりソーイングエリアを拡大できます。これにより、ソーイングプロジェクトの位置決めや作業が容易になります。表示ウィンドウにより、テーブルを取り外すことなくボビンを交換しながらボビン部分を視覚的に確認できます。テーブルには、さまざまなプロジェクトの位置合わせに役立つように、センチメートルとインチの両方のルーラーが印刷されています。取り付け時にゼロセンターがセンター針の位置と一致します。



1 表示ウィンドウ 2 ルーラー

ソーイングテーブルを取り付ける

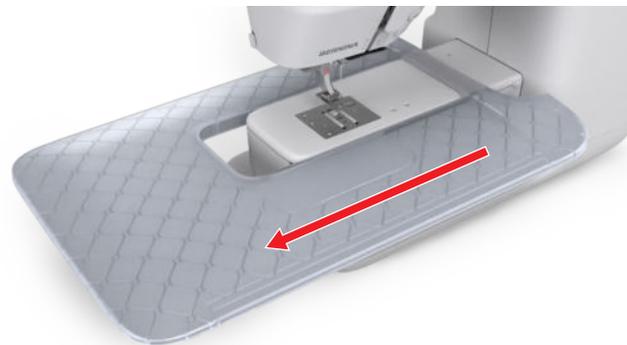
フリーアームに取り付けられたスライドテーブルで、既存の縫製エリアをさらに広げることができます。

前提条件：

1. 針を上げます。
2. 押え金を上げます。
3. スライドテーブルを、フリーアームの上に左から右へ、ロックされるまでスライドさせます。

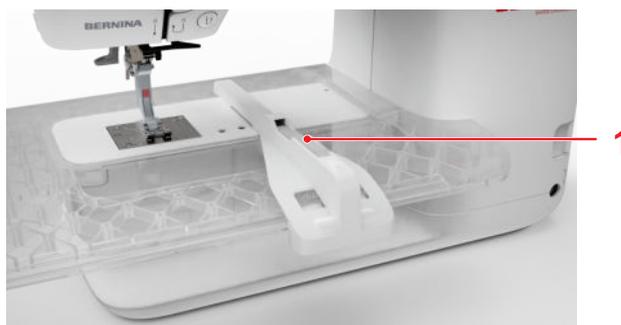


4. ソーイングテーブルを取り外すには、フリーアーム上でソーイングテーブルを左にスライドさせます。



シームガイドの使用

ソーイングテーブル用のシームガイドを使用すると、ガイドに沿って均一な縫い目が縫えます。



1 リリースボタン

前提条件：

- ソーイングテーブルが取り付けられています。
1. シームガイドを取り付けるには、リリースボタンを押し、ソーイングテーブルの前面から背面に向かってシームガイドをはめ込みます。
 2. 取り付けたらリリースボタンを押し下げて、希望どおりの位置に配置します。
 3. シームガイドを取り外すには、リリースボタンを押し、シームガイドを前方に引き離します。

3.7 針板

付属の5.5 mm針板は、ほとんどのソーイング作業に適しています。パンチワークなどの特定の用途では、特殊な針板が使用されます。特定の針板にはカラーコードが付けられています。

- カラーコードなし：5.5 mm針板
- オレンジ/黄色：ストレート、パンチ、カットワーク針板

各針板には縦線が刻まれており、生地をまっすぐに導くためのルーラーとして使用できます。斜めの線を使用して、布地を正確に45度の角度に揃えることができます。水平線を使用して、針から指定された距離に布を置くことができます。

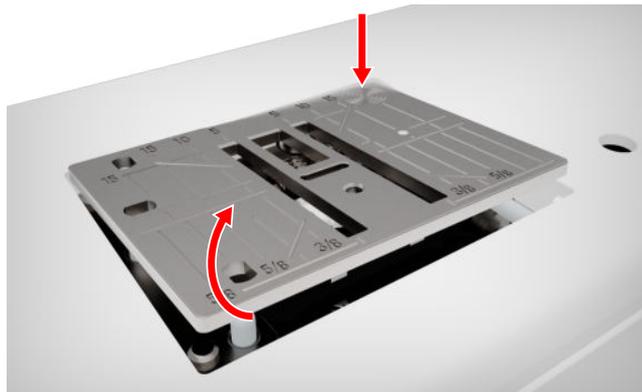
3 ミシンのセットアップ

針板を取り替える

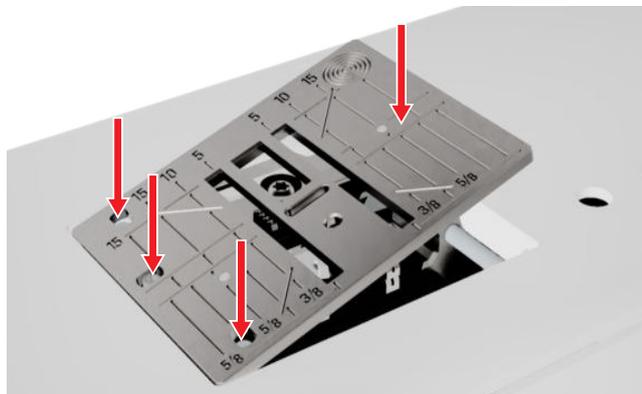
前提条件：

- 針と押え金が上がります。

1. 画面をロックします。
2. 針と押え金を取り外します。
3. 右側のリリース用圧力ポイントで、針板を倒れるまで押し下げます。



4. 針板を取り外します。
5. 新しい針板の開口部を対応するガイドピンの上に置き、カチッと音がするまで針板を押し下げます。



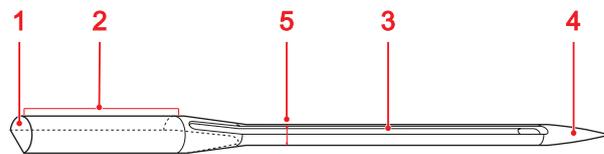
6. 画面のロックを解除します。

3.8 針

マシンには130/705システムの針のみを使用してください。選択した生地に適した針の太さを選択します。薄い生地には細い針、厚い生地には太い針を使用します。

- 針サイズ70、75：軽量生地
- 針サイズ80、90：中程度の生地
- 針サイズ100、110、120：厚手の生地

ソーイングプロジェクトに応じて、さまざまな針の種類があります。針の種類と針のサイズは、針の名前で識別できます。例：130/705 H-S/70：



- 1 705 = シャンク 2 130 = シャンク長さ 3 H = 溝
4 S = ポイントタイプ 5 70 = 針のサイズ

針とその用途に関する詳しい情報は、ベルニナの針用パンフレットに記載されています。

時間の経過とともに、針は摩耗します。そのため、定期的に針を交換する必要があります。美しい縫い目を作るには、完璧な針先が必要です。

針と糸の組み合わせ



糸が正確に長い溝に導かれて、針の穴を通れば、針と糸の組み合わせは正しいです。



糸が針に対して細すぎると、長い溝と針穴の中で糸が動く余地が大きくなりすぎます。その結果、糸が切れたり、縫い目が飛んだりする可能性があります。

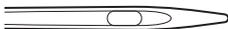
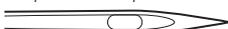


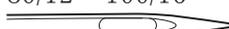
糸が針に対して太すぎると、針穴に糸を通すのが難しくなり、長い溝の端に糸が擦れてしまうことがあります。その結果、糸が切れて針に刺さってしまう可能性があります。

針の概要

針	用途
ユニバーサル針 130/705 H 60/8 - 120/19 	織物（薄手、中厚手、厚手）、ニットウェア、皮革、ビニール、ジーンズ/デニム用。天然繊維と合成繊維用。
<input checked="" type="checkbox"/> 先端が少し丸みを帯びています。	一般的な縫製、ボタン付けやボタン穴縫い、ファスナー、縁縫いとトップステッチ、装飾的な縫製、刺しゅう、パッチワーク、キルティング用。

3 ミシンのセットアップ

針	用途
ストレッチ針 130/705 H-S 75/11 - 90/14  ■ 中程度のボールポイント付き。	ニット製品（ジャージー、トリコット、ニット、ストレッチ素材）用。 一般的な縫製、ボタン付けやボタン穴縫い、ファスナー、縁縫いとトップステッチ、装飾的な縫製、刺しゅう用。
ジャージー/刺しゅう針 130/705 H SUK 80/12  ■ 中程度のボールポイント付き。	織物（薄手、中厚手、厚手）、ニットウェア、ビニール用。 一般的な縫製、ボタン付けやボタン穴縫い、ファスナー、縁縫いとトップステッチ、装飾的な縫製、刺しゅう用。
ジーンズ針 130/705 H-J 80/12 - 110/18  ■ 細くて鋭い針先。	織物（薄手、中手、厚手）、革、ジーンズ/デニム。 一般的な縫製、ボタン付けやボタン穴縫い、ファスナー、縁縫いとトップステッチ、装飾的な縫製、刺しゅう、パッチワーク、キルティング用。
レザー針 130/705 H LR 90/14, 100/16  ■ 切り口付き。	皮革、合成皮革、類似素材に。 ファスナー、裾、トップステッチなど、くつつきやすい素材に。
マイクロテックス針 130/705 H-M 60/8 - 110/18  ■ 非常に細くて鋭い針先。	織物（薄手、中厚手、厚手）、プラスチック、シルク、マイクロファイバー生地、ビニール、コーティング素材などの滑りにくい素材用。 一般的な縫製、ボタン付けやボタン穴縫い、ファスナー、縁縫いとトップステッチ、装飾的な縫製用。端をトップステッチする際の直線ステッチ用。
キルティング針 130/705 H-Q 75/11 - 90/14  ■ 非常に細く、先端が少し丸みを帯びています。	織物用（薄手、中厚手、厚手）。 装飾的な縫製、パッチワーク、キルティング。キルティングやパッチワークなど、ステッチ/トップステッチ用。

針	用途
刺しゅう針 130/705 H-E 75/11 - 90/14  ■ 軽いボールポイントと特に広い穴と広い溝を備えています。	織物（薄手、中厚手、厚手）、ニットウェア用。太めの糸用。 一般的な縫製、ボタン付けやボタン穴縫い、ファスナー、縁縫いとトップステッチ、装飾的な縫製、刺しゅう用。
薄地用針 130/705 H SES 70/10 - 90/14  ☒ 軽いボールポイント付き。	ベルベットなどの薄く繊細な素材用。 一般的な縫製、ボタン付けやボタン穴縫い、ファスナー、縁縫いとトップステッチ、装飾的な縫製、刺しゅう、パッチワーク、キルティング用。
メタフィル針 130/705 H META FIL 80/12  ■ 中程度のボールポイントと長い目（2 mm）付き。	織物（薄手、中厚手、厚手）、ニットウェア用。特殊な効果や特殊糸、特に金属糸でのソーイングに適しています。 メタリック糸を使った刺しゅう用。裾やトップステッチ、飾り縫い、刺しゅうなどに。
トップステッチ針 130/705 H-N 80/12 - 100/16  ■ 中程度のボールポイントと長い目（2 mm）付き。	織物用（薄手、中厚手、厚手）。 裾やトップステッチ、飾り縫い、刺しゅうなどに。数種類の縫い糸を使った装飾やキルティング作業、また刺しゅうにも使えます。
ヘムステッチ針 130/705 H WING 100/16, 120/20  ☒ 針の両側に「翼」が付いています。	織物用（薄手、中厚手、厚手）。 ヘムステッチによる装飾縫製や刺しゅうの特殊効果に。
ユニバーサルツイーン針 130/705 H ZWI 70-100  ☒ 針間の距離：1.0/ 1.6/ 2.0/ 2.5/ 3.0/ 4.0/ 6.0/ 8.0	ストレッチ素材の裾やピンタック、飾り縫いなどの見える部分に。

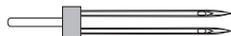
3 ミシンのセットアップ

針

用途

ストレッチ用二本針
130/705 H-S ZWI
75

ストレッチ素材の裾やピンタック、飾り縫いなどの見える部分に。



☒
針間の距離：2.5/
4.0

ヘムステッチ用二本針
130/705 H ZWIHO
100

ヘムステッチ刺しゅうの特殊効果に。



☒
針の全幅：
2.5mm

ユニバーサルトリプル針
130/705 H DRI
80

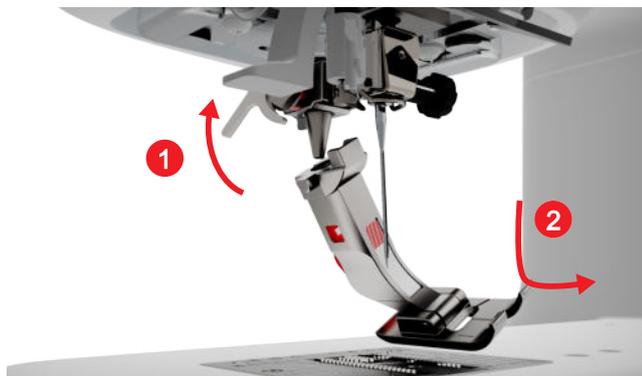
ストレッチ素材の裾や飾り縫いなどの見える部分に。



☒
針の全幅：
3.0mm

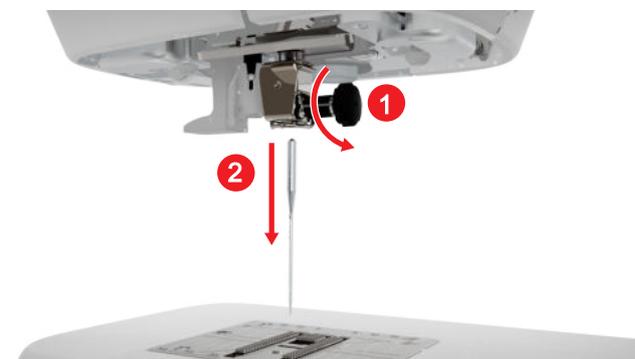
針の交換

1. 画面をロックします。
2. 押え金を取り外します。

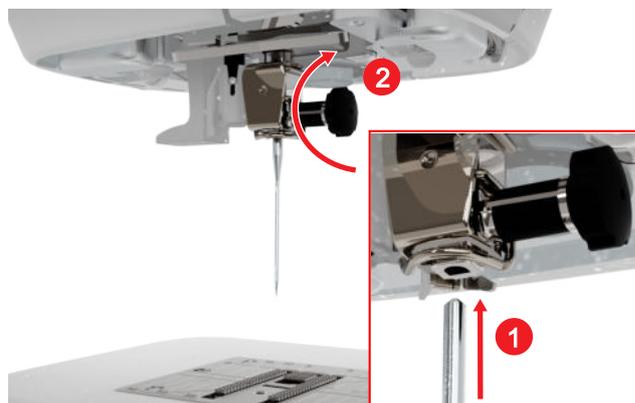


3. 針を上げます。

4. 針のネジを緩めて針を下に引きます。



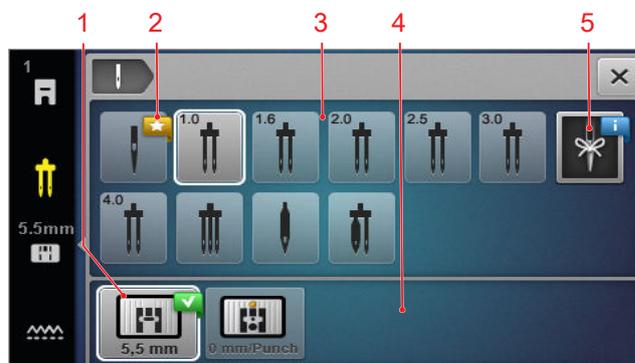
5. 新しい針を平らな面を後ろ側にして針ホルダーに挿入して、奥まで押して、所定の位置に入れます。
6. ネジを締めます。



7. 画面のロックを解除します。
8. ステータスバーで、針板と縫い針 をタップし、針の概要セクションで適切な針を選択します。 [▶ 参照ページ: 20]

針板と縫い針

縫製 ▶ 針板と縫い針



- 1 選択した針板
- 2 推奨
- 3 針の概要
- 4 針板の概要
- 5 ニードルマインダー

ミシンに適合する針板と針は、針板の概要および針の概要セクションに表示されます。

3 ミシンのセットアップ

推奨される針板と針は、**推奨★**アイコン付きで表示されます。

ステッチ、針、針板の互換性をミシンがチェックできるようにするには、**針の概要**および**針板の概要**エリアで適合する針と針板を選択する必要があります。選択した針は**針の概要**エリアで白枠で表示され、ステータスバーに表示されます。選択した針板は**針板の概要**エリアで白枠で表示されます。

選択した針が針板または押え金で使用できなくなった場合は、エラーメッセージが表示されます。

ニードルマインダー

ニードルマインダー ↓機能を使用して、取り付けられた針のタイプと針サイズを記録できます。これで、どの針がミシンに付いているか忘れてしまった場合、いつでも調べることができます。

針位置

針の位置はさまざまな方法で調整できます。

- **針位置上下機能** ↓↑ボタン：針を上げたり下げたりします。
- **針位置左/右** ⇄ボタン：針を中心から左または右に5つの位置に移動します。
- **針止め** ↓アイコン：ソーイングモードでミシンを停止するときに、針の位置を上または下に設定します。

3.9 上糸

糸の品質、太さ、素材は選択した布地に適したものでなければなりません。ベルナでは、最適な縫製結果を実現するために高品質の糸を購入されることをお勧めします。

- 綿糸は、キルトなどの綿生地での装飾作品を縫うのに特に適しています。綿糸は特に破れにくいわけではないので、仮縫いして後でほどこ縫い目にも使用できます。ただし、特に耐摩耗性が求められる縫い目には使用しないでください。
- シルケット加工を施した綿糸は、洗濯後もわずかな光沢が残ります。
- ポリエステル糸は、引張強度が強く、特に色あせしません。ポリエステル糸はより伸縮性があるので、丈夫で弾力的な縫い目を必要とする箇所での使用をお勧めします。
- レーヨン/ビスコース糸は明るい光沢が特徴です。レーヨン糸は飾りステッチに最適で、さらに美しい効果を生み出します。

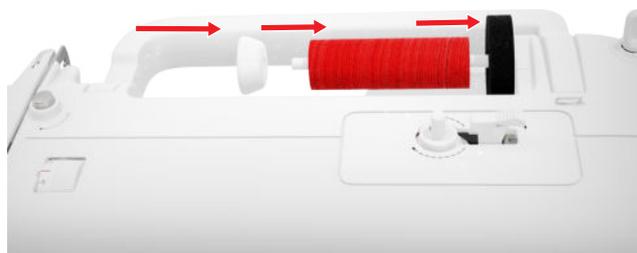
一本針の糸通し

縫い目を正しく仕上げ、糸のもつれを防ぐために、上糸を正しく通す必要があります。

糸を通す方向は、ミシン上に実線の矢印でマークされ、正しい順序に従って番号が付けられています。

1. フォームパッドを水平糸立て棒にセットします。
2. テンションディスクが開き、その間を糸がスムーズに滑るよう、押え金を上げます。

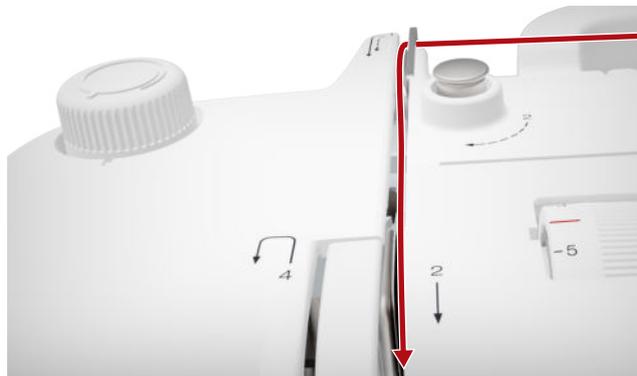
3. 糸が糸取りレバーに簡単に挿入できるように、針を上げます。
4. 画面をロックします。
5. 糸巻きを糸立て棒にセットします。
6. 糸こまと同じ直径の糸こま押えを選択し、糸立て棒に取り付けます。糸こまは回転してはいけません。糸は適切にほどけるはずですが。



7. 滑りやすい糸の場合は、追加対策として糸こまネットを糸こまの上にかぶせます。
8. 糸を後方の糸ガイドに直接通します。
9. 右手で糸を持ち、左手で糸をピンと引っ張り、糸ガイドの下から糸を通し、ミシンの手前まで通します。



10. 右側の糸を下向きにして、テンションディスクを通します。



3 ミシンのセットアップ

11. 下糸を上向きに糸取りレバーカバーの周りを通します。



12. 糸を糸取りレバーに通して下方に通します。糸が左側のパネルの下を通っていることを確認します。



13. 針周りの最初の糸ガイドの後ろで、糸を右から左に通します。



14. 針周りの2番目の糸ガイドの後ろで、糸を右から左に通します。

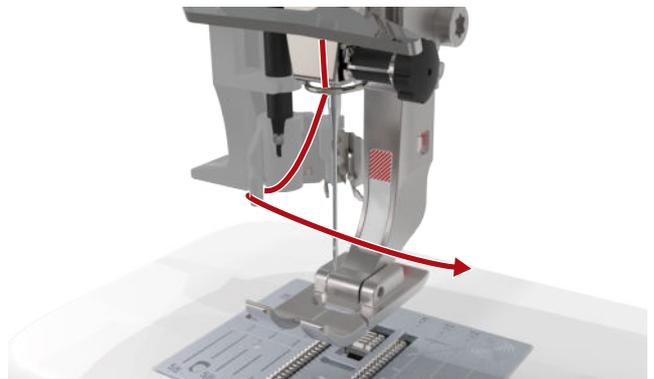


15. 糸を左、少し後ろ方向へ引っ張ります。



16. 糸通しレバーを半分まで押し下げます。糸を糸通し指の後ろに引っ掛けるようにして通します。

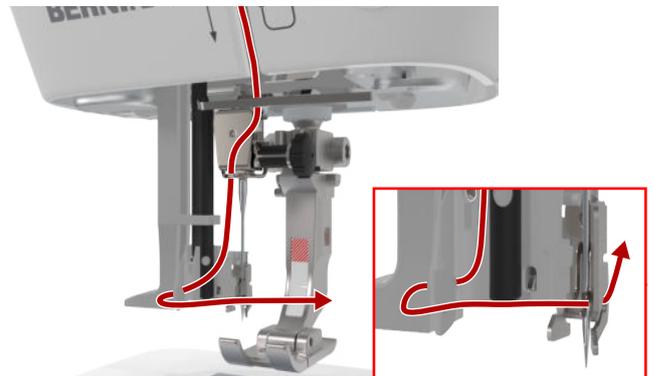
17. 糸を左から右に糸通し指の前に通します。



18. 糸通しレバーを止まるまで押し下げます。

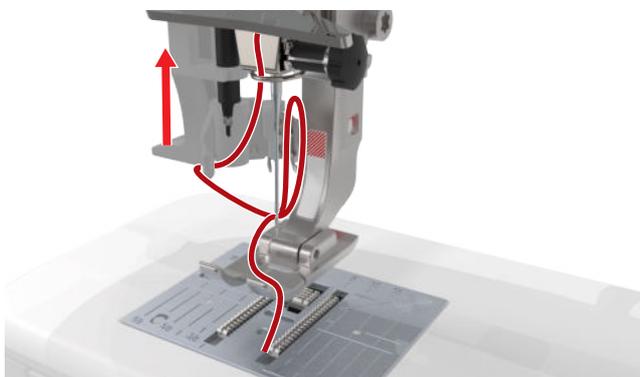
⇒ 糸通し器の糸通しフックが針の穴を通りません。

19. 糸を左から右に引っ張り、糸通しフックに引っかかるまで、糸通しスロットを通し、しっかりと後ろに引っばります。



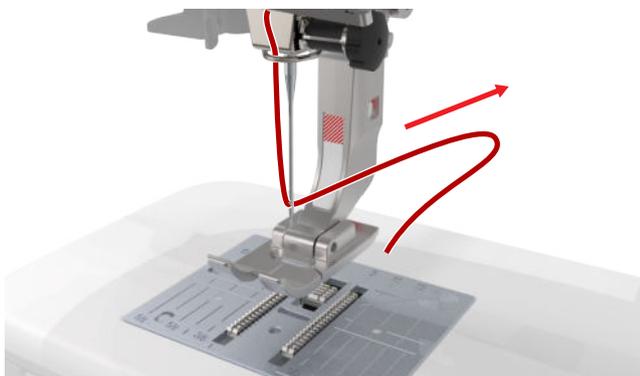
3 ミシンのセットアップ

20. 糸をゆるく持ち、糸通しレバーを離します。



⇒ 糸を針穴に押し通します。

21. 糸の端が針を通り抜けるまで、糸のループを後ろに引っばります。



22. 押え金の下糸を糸切りまで引っ張り、糸を切ります。

二本針に糸を通す

二本針に糸を通すには、一本針の糸通し手順に従って、両方の糸を順番に通します。左の針から開始します。[▶ 参照ページ: 21]



以下の違いに注意してください。

1. 垂直糸立て棒と水平糸立て棒にそれぞれフォームパッドを1つずつセットします。
2. 左針の糸こまを垂直糸立て棒に、右針の糸こまを水平糸立て棒にセットします。
3. 垂直糸立て棒の糸を糸ガイドアイレットを通して右から左に導きます。

4. 一本針に糸を通すのと同じ方法で、両方の上糸をテンションディスクまで通します。
5. テンションディスクで、左針の糸をテンションディスクの左下に、右針の糸をテンションディスクの右下に通します。
6. 一本針に糸を通すのと同じように、糸を針まで通します。
7. 両方の針に手で糸を通します。

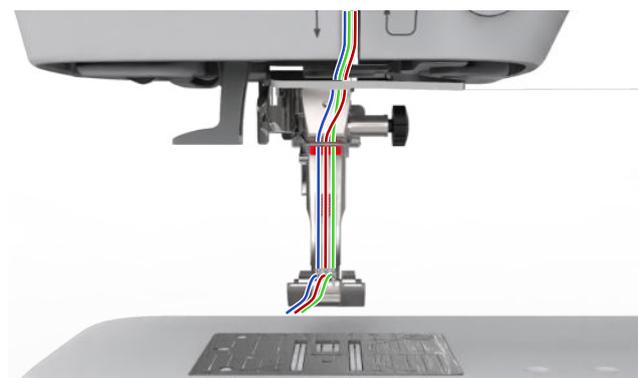
三本針の糸通し

三本針に糸を通すには、一本針のときの指示に従って、3本の糸を一本ずつ順番に3つの針に通します。左針から開始します。[▶ 参照ページ: 21]



以下の違いに注意してください。

1. フォームプレート、糸こま、および対応するスプールディスクを水平糸立て棒にセットします。
2. フォームパッド、糸を巻いたボビン、糸こまを、ボビンと反対方向の垂直糸立て棒にセットします。
3. 垂直糸立て棒の糸を糸ガイドアイレットを通して右から左に導きます。
4. 一本針に糸を通すのと同じ方法で、すべての上糸をテンションディスクまで通します。
5. 左側の垂直糸立て棒の糸をテンションディスクに通し、右側の水平糸立て棒の糸をテンションディスクの下方に通します。
6. 一本針に糸を通すのと同じように、糸を針まで通します。
7. 垂直糸立て棒の糸を左右の針にそれぞれ手で通します。
8. 水平糸立て棒の糸を手で中央の針に通します。



3 ミシンのセットアップ

3.10 下糸

一般的なソーイングの場合、上糸と下糸に同じ糸を使用することを推奨します。さまざまな用途と布地について、推奨する糸をクリエイティブコンサルタントにお問い合わせください。

ボビン巻き取り

下糸を巻く方向はミシンに破線で示され、それに応じて番号が付けられています。

1. 空のボビンをボビン巻き取りユニットにセットします。



2. 糸立て棒を取り外し、逆向きに差し込みます。



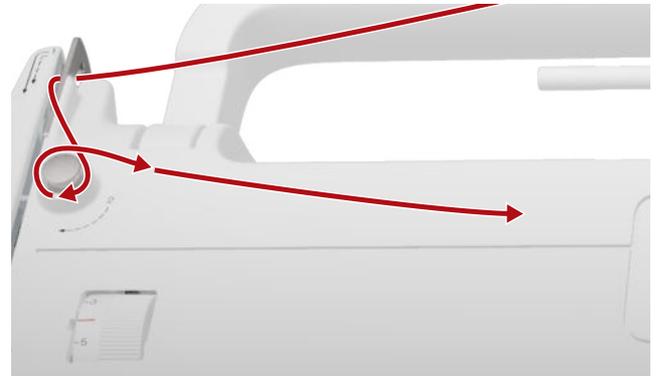
3. フォームパッドと糸こまを垂直糸立て棒にさします。



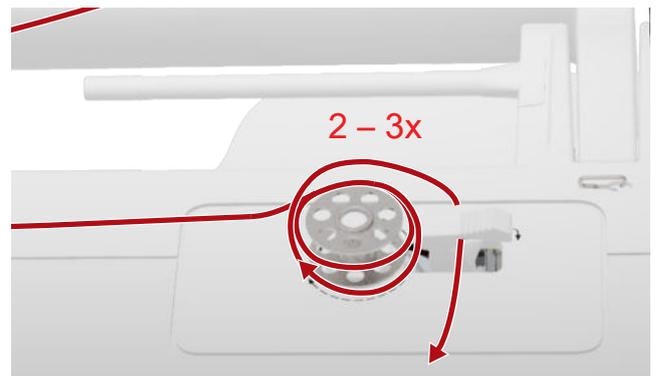
4. 糸を左方向に後方の糸ガイドに通します。



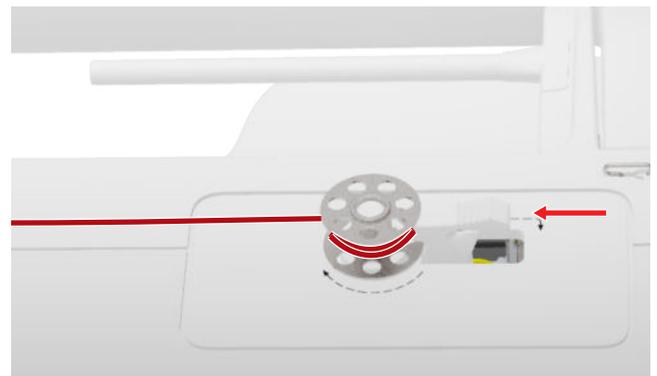
5. 糸をボビン巻き取り器プリテンショナーに矢印の方向に通します。



6. 糸をボビンに矢印の方向に2~3回巻き付け、かみ合いレバーにある糸切りで切ります。



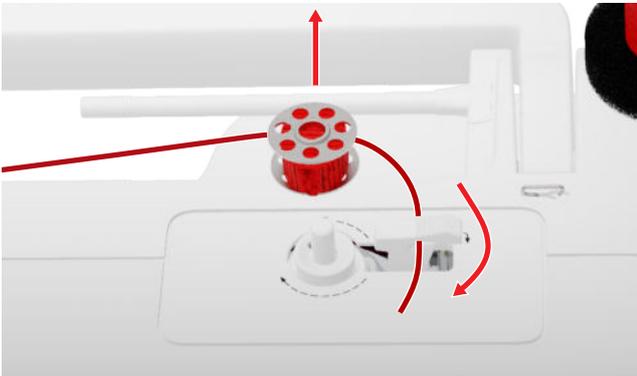
7. かみ合いレバーをボビンの方向に押します。



⇒ ボビンが一杯になると巻き取りは自動的に停止します。

3 ミシンのセットアップ

8. 巻き取りプロセスが完了する前に中断するには、スイッチオンレバーを右に押しします。
9. ボビンを取り外し、糸切りで糸を切ります。



9. 糸をバネの下と糸ガイドの下から引っ張ります。



10. ボビンケースを戻します。糸ガイドが上を向くように、ボビンケースのタブを持ちます。



11. ボビンケースの中央をカチッと音がするまで押しします。
12. 糸を糸切りの上に引っかけて切ります。



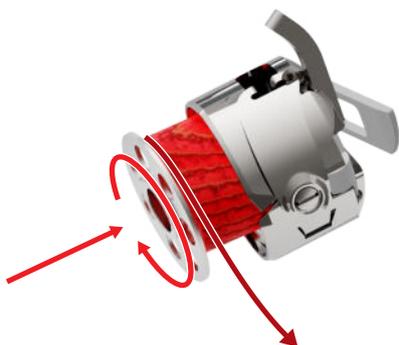
13. 釜カバーを閉じます。

下糸に糸を通す

1. 針を上げます。
2. 押え金を上げます。
3. 画面をロックします。
4. 釜カバーを開けます。
5. つまみを持ってボビンケースをミシンから取り外します。



6. ボビンケースからボビンを取り出します。
7. 新しいボビンを時計回りに回転するようにして差し込みます。
8. 糸を左側のスロットに通します。



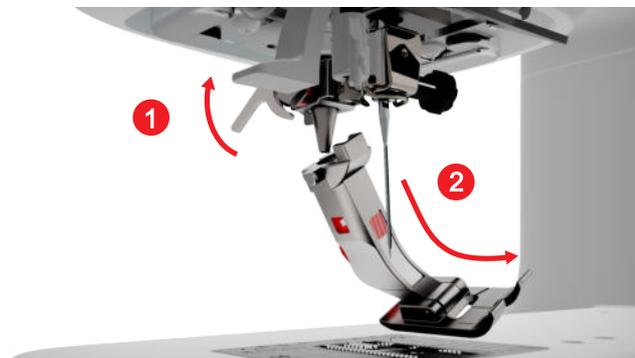
3.11 押え金

押え金の交換

1. 針を上げます。
2. 押え金を上げます。
3. 画面をロックします。

3 ミシンのセットアップ

- クランプレバーを押し上げ、押え金を横に下方に引きます。



- 新しい押え金を下からホルダーに差し込み、クランプレバーを押し下げます。
- ソーイング機能のロックを解除します。

- 押え金リフターレバーを使用してスナップオンシャンクを下げます。

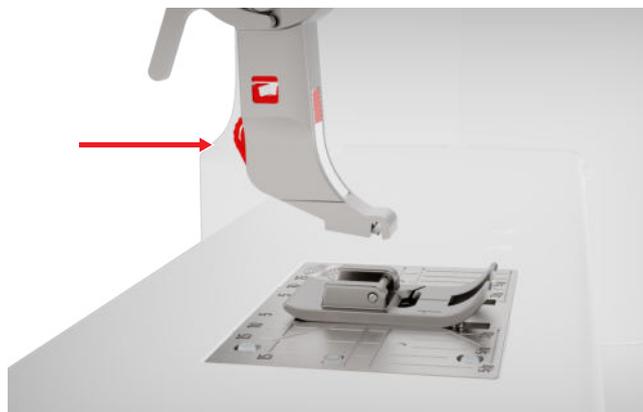


⇒ 押え足底がカチッと所定の位置に固定されます。

押え金の交換

押え足底を取り外す

- 針を上げます。
- 押え金を上げます。
- 画面をロックします。
- スナップオンシャンクのボタンを押します。



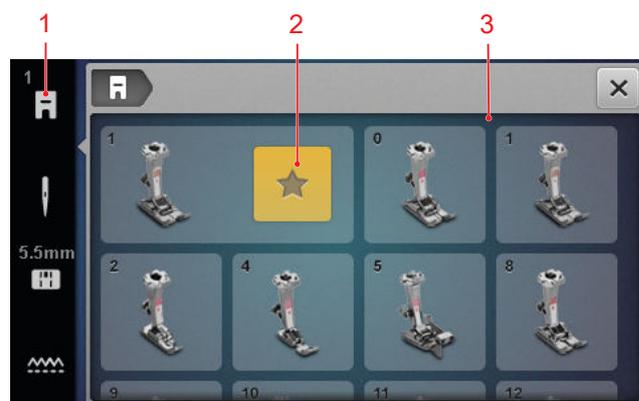
⇒ 押え足底が外れます。

押え足底を取り付ける

- クロスピンがシャンクの開口部の下になるように、押え足底をスナップオンシャンクの下にセットします。

押え金ライブラリ

縫製 押え金



1 推奨押え金 3 押え金の概要

選択したステッチパターンに推奨される押え金が表示されます。

ミシンと互換性のある押え金は、**押え金の概要**セクションに表示されます。

推奨押え金には、**推奨** ★ アイコンが付きま

押え圧

押え圧には、中厚生地を扱うためのデフォルト設定があります。

厚い生地を扱う場合、押え圧を下げると、押え金の下で生地をより簡単に動かすことができます。薄い生地を扱うときは、押え圧を高くすると生地が滑りにくくなります。

開始する前に設定をテストすることをお勧めします。生地が抵抗のみで送られる場合は、押え圧を下げるすることができます。布地が押え金の下で簡単に滑り落ちる場合は、押え圧を高くしてください。

さまざまな生地やソーイング技術に合わせた押え圧の設定に関する推奨事項は、コンサルタントに記載されています。[▶ 参照ページ: 14]

3 ミシンのセットアップ



1. 押え圧を下げるには、押え圧回転ノブを反時計回りに回します。
2. 押え圧を上げるには、押え圧回転ノブを時計回りに回します。
3. デフォルトの押え圧を設定するには、回転ノブのマークとミシンのマークが揃うまで押え圧回転ノブを回します。



1. 送り歯を下げるには、ボタン送り歯上/下を押します。



2. 送り歯を上げるには、ボタン送り歯上/下をアンロックします。
 ⇨ 送り歯は、最初のステッチが縫われた後に完全に上昇します。



ヒント

送り歯  アイコンをタップすると、送り歯を下げる方法または上げる方法の説明が表示されます。

3.12 布地送り

送り歯

縫製  ▶ 送り歯 

送り歯は布地を押え金の下へ動かします。布地が均等に送られるように、押え金を水平に配置する必要があります。縫い目の高さを補正するには、必要に応じて、押え金の下針の後ろまたは前に1つまたは複数の高さ補正プレートを配置します。

布地を自由にガイドする必要がある用途では、送り歯を下げるすることができます。

3.13 ミシンの設定

言語

設定  ▶ ミシン  ▶ 言語 

言語設定では、ユーザーインターフェースの言語を設定できます。

照明

設定  ▶ ミシン  ▶ 照明  ▶ 照明 

照明設定で、ソーイングライトのオン/オフを切り替えることができます。

ディーラー情報

設定  ▶ ミシン  ▶ 情報  ▶ 販売代理店データ 

ディーラー情報設定を使用して、ベルニナ販売店の住所を入力すると、いつでも簡単に販売店情報を参照できます。

3 ミシンのセットアップ

3.14 個人設定

ウェルカムメッセージ

設定  ▶ パーソナル  ▶ ウェルカムメッセージ

ウェルカムメッセージ設定を使用して、ミシンの電源を入れたときに表示されるテキストを入力できます。

背景色

設定  ▶ パーソナル  ▶ 背景色

背景色設定を使用して、画面の配色を選択できます。

背景パターン

設定  ▶ パーソナル  ▶ 背景パターン

背景パターン設定を使用して、画面の配色を選択できます。



1. 上糸の張力を変えるには、上糸調子回転ノブを希望する方向に回します。
2. デフォルトの上糸調子を設定するには、回転ノブのマークとミシンのマークが揃うまで上糸調子回転ノブをまわします。

3.15 ソーイング設定

上糸調子

上糸調子はベルニナ工場で最適に設定されています。上糸と下糸には、メトラームトロセン/セルロン糸のサイズ100/2を使用します。

上糸の張力が高ければ高いほど、上糸の張力が強くなり、下糸が布地に強く引っ張られます。上糸の張力が低いほど、上糸の張力は弱くなり、下糸は布地にあまり強く引っ張られません。



完璧なステッチ
糸の結び目は布地の中央にあります。



上糸テンションが強すぎる。
これにより、下糸が布地により強く引っ張られます。



上糸テンションが弱すぎる。
これにより、下糸が布地により強く引っ張られます。

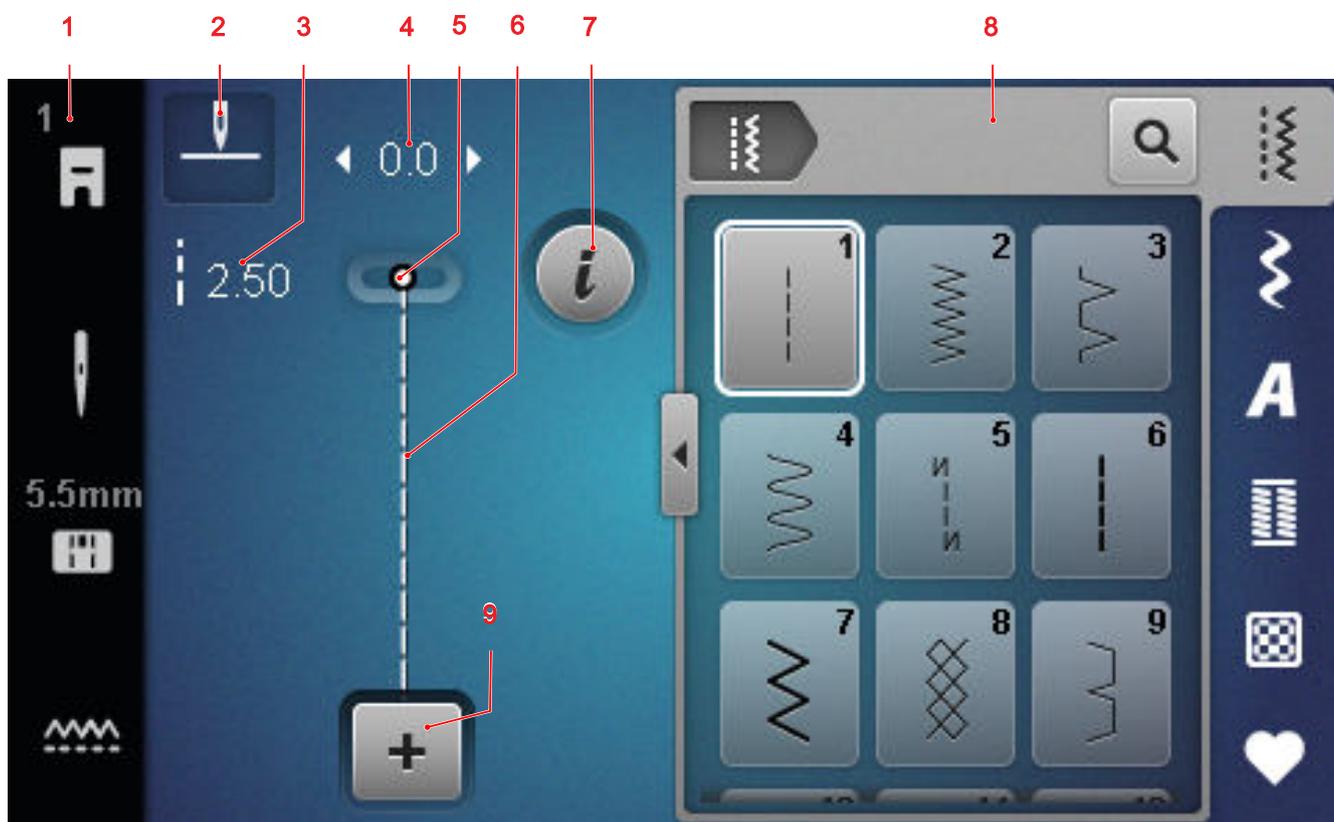
ソーイングスピード

設定  ▶ 縫製  ▶ ソーイングスピード 

ソーイングスピード機能を使用して、最大ソーイングスピードを制限できます。ミシンの電源を切っても設定は保存されます。

ソーイングスピードは1分あたりのステッチ数で指定します。最大ソーイングスピードは、1分あたりの900のステッチ数です。

縫製



1 ステータスバー 2 針止め 3 送り長さ 4 振り幅 5 針位置 6 ステッチプレビュー 7 編集 8 ステッチの選択 9 コンビモードに関して

針止め

針止め ↓ アイコンは、ミシンが停止しているときの針の位置を示します。

- ↓ : 針停止 上。
- ↓↓ : 針停止 下。

アイコンを切り替えて、針の位置を上または下で停止するように設定できます。

送り長さ

送り長さ機能を使用して、現在のステッチの長さを調整できます。[▶ 参照ページ: 36]

振り幅

振り幅機能を使用して、現在のステッチの幅を調整できます。[▶ 参照ページ: 36]

針位置

針が左または右に動いた場合は、針の位置の値が表示されます。アイコン針位置 ↓ をタップすると、針の位置を中央の位置に戻すことができます。

ステッチプレビュー

現在のステッチまたはステッチパターンの組み合わせのプレビューがステッチプレビューに表示されます。組み合わせモードでは、ステッチプレビューで個々のステッチを選択できます。

編集

編集 i 機能を使用して、ステッチパターン編集機能を開くことができます。[▶ 参照ページ: 36]

コンビモードに関して

コンビモードに関して + を使用して、コンビモードのオン/オフを切り替えることができます。[▶ 参照ページ: 40]

4.1 ステータスバー

ステータスバーにはさまざまな機能の状態が表示されます。

アイコンの色は機能の現在の状態を示します。

- 白：デフォルト設定と推奨設定
- 黄：変更された設定

押え金

押え金 ㊦ アイコンは、推奨押え金を示します。アイコンをタップすると、押えの概要が表示され、押えの詳細が表示されます。[▶ 参照ページ: 26]

針板と縫い針

針板と縫い針 ㊦ アイコンは、選択した針と針板を示します。

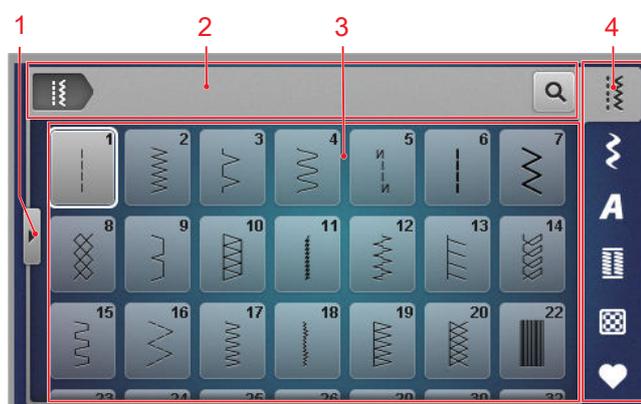
アイコンをタップすると、針とステッチプレートの概要を開き、接続されている針とステッチプレートを選択できます。

選択したスロットプレートが針の使用に適さない場合、赤い感嘆符が表示されます。

送り歯

送り歯  アイコンをタップすると、送り歯を下げる方法または上げる方法の説明が表示されます。

4.2 ステッチの選択



1 フルスクリーン **2** ナビゲーションバー **3** 選択エリア **4** クイックアクセスバー

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーには、選択したステッチパターンへのパスが表示されます。

検索

検索  機能を使用して、ステッチ番号でステッチパターンを検索できます。

選択エリア

選択エリアで、フォルダを移動してステッチパターンを読み込むことができます。各ステッチパターンはプレビュー画像とともに表示されます。

プレビューで希望のステッチパターンをタップすると、読み込まれます。

全画面

全画面  機能を使用すると、選択エリアが全画面幅まで拡大します。

クイックアクセスバー

クイックアクセスバーを使用すると、ステッチカテゴリや個人用フォルダ内のさまざまなフォルダに直接アクセスできます。

実用縫い

実用縫い  フォルダには、実用的なステッチがすべて含まれています。[▶ 参照ページ: 31]

飾り縫い

飾り縫い  フォルダには、すべての装飾ステッチがカテゴリ別にフォルダに分類されています。[▶ 参照ページ: 33]

文字

文字 **A** フォルダには、すべての縫製用アルファベットが保管されています。[▶ 参照ページ: 33]

ボタンホール

ボタンホール  フォルダには、すべてのボタンホール、アイレット、ボタン縫い付けプログラムが含まれています。[▶ 参照ページ: 34]

キルトステッチ

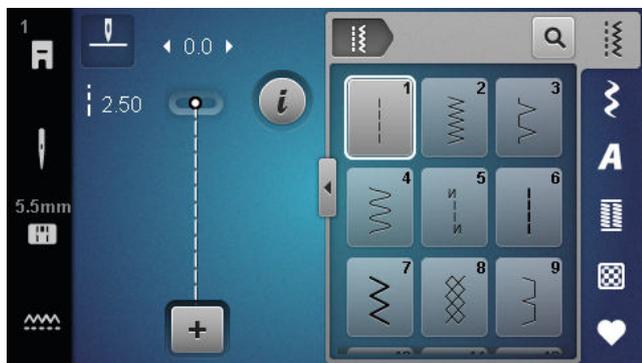
キルトステッチ  フォルダには、すべてのキルトステッチが含まれています。[▶ 参照ページ: 35]

個人フォルダ

個人フォルダ  フォルダには、自分独自のステッチパターンを保存でき、そこからロードできます。ステッチパターンをフォルダに整理できます。

5.1 実用縫い

縫製 Ⅿ ▶ 実用縫い Ⅿ



ステッチパターン	ステッチ番号	名称	用途
—	1	直線縫い	縫い目を接合したり、トップステッチや仮縫いに。
∩	2	ジグザグ	仕上げ、ニットの縫い目の縫製、レースインサートやゴムバンドの縫製に。
∩	3	バリオーバーロック	ニット生地 of 端の仕上げ、縫い合わせ、仕上げに。
∩	4	ランニングステッチ	布端の繕いや補強、レースやゴムテープの縫い付けに。
∩	5	留め縫いプログラム	順縫いと逆縫いで縫い始めを自動的に留め縫いします。
—	6	トリプル直線縫い	厚手の生地 of 縫い目の補強、トップステッチ、装飾効果に。
∩	7	トリプルジグザグ	丈夫な生地 of 耐久性のある縫い目、目立つ裾、装飾的な縫い目に。
∩	8	ネットステッチ	ニットや織物 of 目立つ装飾的な縫い目に。
∩	9	まつり縫い	ほとんどの生地タイプ of まつり縫い押え、およびソフトジャージーや上質な生地 of シェルエッジに。
∩	10	ダブルオーバーロック	ニット生地 of 縫い合わせや仕上げに。
∩	11	スーパーストレッチステッチ	非常に伸縮性のあるオープンシームに。
∩	12	ギャザーステッチ	太い糸でギャザーを寄せたり、中厚の生地 of 縫い目をフラットな縫い合わせに。
∩	13	ストレッチオーバーロック	ニット生地 of 縫い合わせや仕上げ、またフラットな縫い合わせにも。

ステッチパターン	ステッチ番号	名称	用途
	14	トリコットステッチ	ランジェリーやセーターなどの目立つ裾や縫い目、トリコット生地 of 補修に。
	15	ユニバーサルステッチ	フェルトや皮革などの厚手の生地 of フラットな接ぎ合わせ、目立つ裾や装飾的な縫い目、エラストックテープ of 縫い付けに。
	16	ジグザグステッチ	布端 of 仕上げや補強、エラストックテープ of 縫い付け、装飾的な縫い目（飾り縫い目）などに。
	17	ライクラステッチ	フラットな継ぎ合わせ、ライクラ生地 of 目立つ裾、肌着 of 縫い目 of 縫い付けに。
	18	ストレッチステッチ	織物やニット生地 of 伸縮性 of ある縫い目や裾に。
	19	補強オーバーロック	中厚地 of ニット地やタオル地 of のかがり縫い、またはフラットな縫い合わせに。
	20	ニットオーバーロック	織物やニット生地 of 伸縮性 of ある縫い目や裾に。
	22	シンプルダーニングプログラム	薄い生地から厚い生地まで自動で繕う。
	23	補強ダーニングプログラム	厚手 of 生地 of 自動ダーニングに。
	24	パッチプログラム	ポケット口、ボタンホール of 補強やベルト of ループ of 縫製に。
	25	パッチプログラム	ポケット口 of 補強や縫い目 of 端 of 留め縫いに。
	26	大型フライステッチ	中厚地から厚地 of ポケット口、ファスナー、スリット部 of 補強に。
	29	ふり幅の小さいまつり縫い	上質で柔らかい生地 of まつり縫い押えやシェルエッジに。
	30	手作業によるしつけ縫い	非常に長いステッチ長さ of 必要な作業に。
	32	一針直線縫い	本 of 直線縫いを組み合わせたつなぎステッチとして。
	33	三針直線縫い	3つ of 個別 of 直線縫いを組み合わせたつなぎステッチとして。

5.2 飾りステッチ

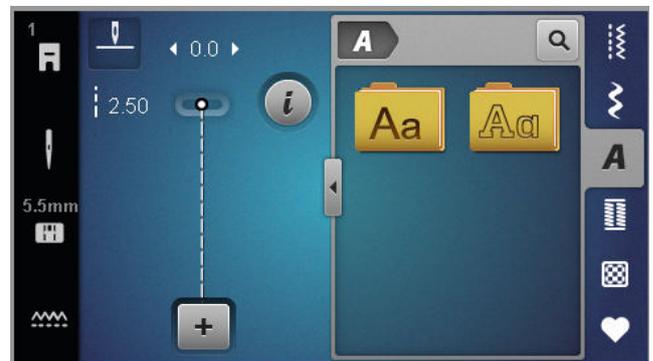
縫製 ▶▶ 飾り縫い



種類	名前
100 🌿 🌿	ネイチャー
300 ✂️ ✂️	クロスステッチ
400 ▼ ▼	サテン
600 🔲 🔲	幾何学模様
700 🌀 🌀	ヘアローム
900 👶 👶	子供用モチーフ

5.3 アルファベット

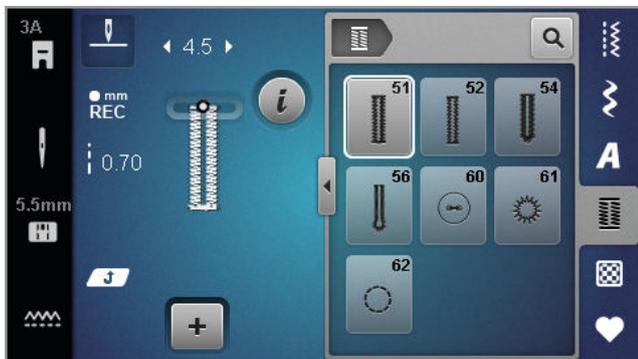
縫製 ▶▶ 文字 A



ステッチパターン	名前
ABCabc	ブロック体
ABCabc	ダブルブロック体アルファベット

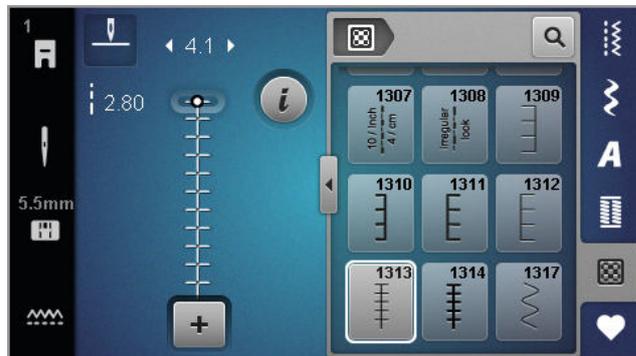
5.4 ボタンホール

縫製 ▶ ボタンホール



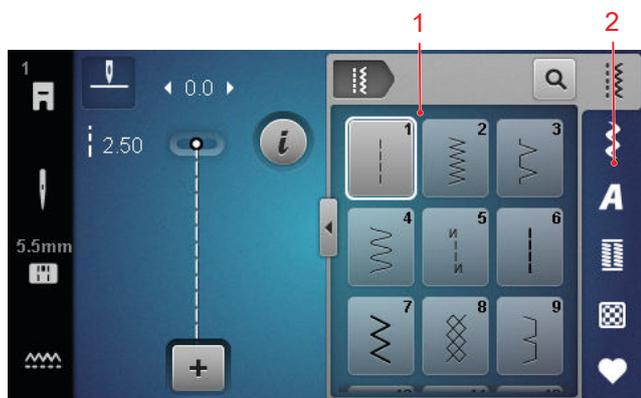
ステッチパターン	ステッチ番号	名称	用途
	51	標準ボタンホール	ブラウス、ドレス、ベドリネンなどの薄地から中厚地の生地に。
	52	細い標準ボタンホール	ブラウス、ドレス、子供服や赤ちゃん服、クラフトなどの薄地から中厚地の生地に。
	54	標準バータック付きラウンドボタンホール	ドレス、ジャケット、コート、レインコートなどの中厚地から厚地に。
	56	はと目ボタンホール	ジャケット、コート、レジャーウェアなどの厚手の織物に。
	60	ボタン縫い付けプログラム	二つ穴、四つ穴のボタンの縫い付け。
	61	小さなジグザグアイレット	コードや細いリボンの穴に、飾りに。
	62	直線縫いアイレット	コードや細いリボンの穴に、飾りに。

5.5 キルトステッチ

縫製  ▶ キルトステッチ 

ステッチ	番号	名前	用途
	番 1301	キルティング、留め縫い	縫い始めと縫い終わりに前進で短い留め縫いをするため。
	番 1302	キルティング、直線縫い	長さ3 mmのステッチ長の直線縫いでのマシンキルティング用。
	番 1303	パッチワークステッチ、直線縫い	長さ2 mmのステッチ長の直線縫いで、パッチワークのピースを縫い合わせる際に。
	1304～1307番	手縫い風キルトステッチ	モノフィラメント糸を使った、手縫い風の縫い付け作業に。
	1309～1312番	ブランケットステッチ	アプリケに。
	1313～1314番	ブランケットステッチ	クレイジーパッチワークの2つのパッチの間の端を縫うために。
	1317番	飾り縫いキルトステッチ	キルティング、クレイジーパッチワーク、装飾、仕上げを施す際に。

6.1 ステッチパターンのロード



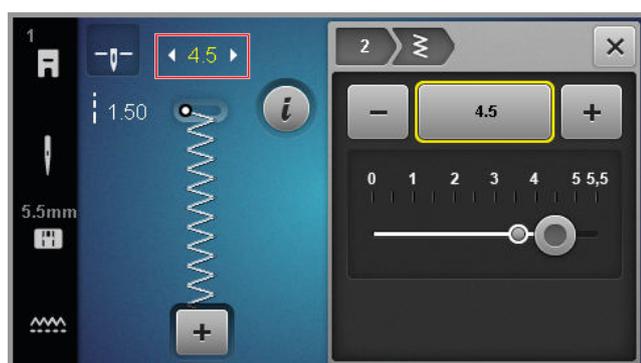
1 選択エリア 2 クイックアクセスバー

- クイックアクセスバーのステッチカテゴリをタップします。
- 選択エリアで目的のステッチパターンを見つけて選択します。
 - ステッチパターンはステッチプレビューに表示されます。

選択エリアの詳細については、ステッチの選択を参照してください。[▶ 参照ページ: 30]

6.2 ステッチパターンの編集

振り幅



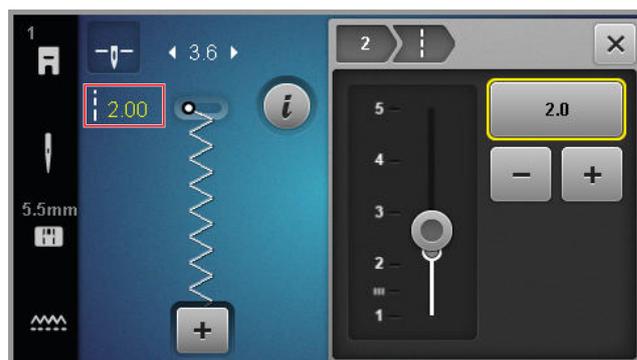
各ステッチに推奨ステッチ幅が表示されている。ほとんどのステッチ、アルファベット、ボタンホールのステッチ幅を変更できる。ステッチ幅は、使用する針、押え金、ステッチプレートによって異なります。

ミシンは針、ステッチプレート、ステッチの適合性をチェックします。これを行うには、ステータスバーの針板と縫い針 アイコンで、付属のステッチプレートと針を選択する必要があります。付属の針と付属のステッチプレートで縫えないステッチは赤で表示されます。

ヒント

ボタン ステッチの幅は、ステッチ幅の変更にも使用できます。

送り長さ



各ステッチに推奨ステッチ長が表示されている。ほとんどのステッチ、アルファベット、ボタンホールの縫い目の長さを変更できます。

飾りステッチやアルファベットの場合、ステッチの長さの代わりに模様が表示される。

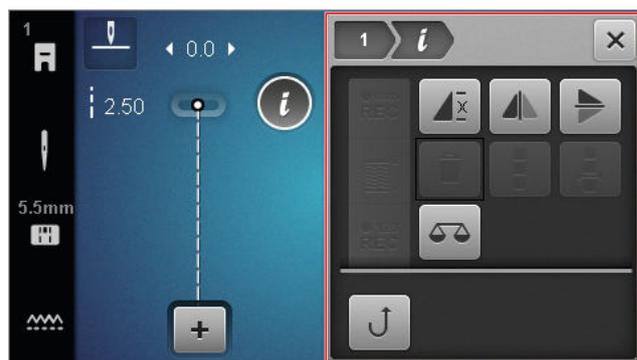


ヒント

ボタンを使って、縫い目の長さを変更することもできます。ステッチの長さ

編集機能

縫製 ▶ 編集



編集 機能を使用すると、選択したステッチの編集機能を表示できます。

6 ステッチパターンの準備と編集

繰り返し

縫製 ▶ 編集 ▶ 繰り返し

繰り返し 機能を使用して、ステッチパターンを何回繰り返し続けたらミシンを停止するか設定できます。9で反復数を設定できます。ソーイング画面に、まだ縫製されていない繰り返しの回数が表示されます。

ミラー左/右

縫製 ▶ 編集 ▶ ミラー左/右

ミラー左/右 機能を使用して、ステッチパターンを垂直軸に沿ってミラーリングできます。

ミラー上/下

縫製 ▶ 編集 ▶ ミラー上/下

ミラー上/下 機能を使用して、水平軸に沿ってステッチパターンをミラーリングできます。

ステッチカウンター

縫製 ▶ 編集 ▶ ステッチカウンター

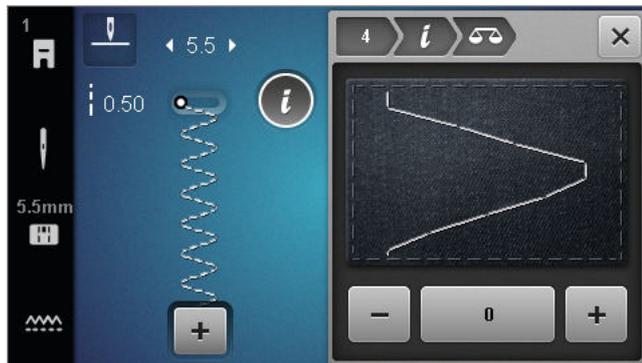
ステッチカウンター 機能を使用すると、縫い目数に基づいて、一部のステッチパターンの縫い目の長さを保存できます。カウントされたステッチ数はソーイング画面に表示され、マシンの電源を切るまで保存されます。[▶ 参照ページ: 37]

バランス

縫製 ▶ 編集 ▶ バランス

バランス 機能を使用して、選んだ生地が原因で適切に縫製されなかったステッチパターンを微調整できます。

ステッチプレビューセクションで縫製サンプルとディスプレイを比較して、バランスを調整し、不適切に縫製されたステッチパターンとプレビューが対応するようにします。



逆行します

縫製 ▶ 編集 ▶ 逆行します

逆行します 機能を使用して、逆方向に縫うことができます。この際、返し縫い ボタンを押し続ける必要はありません。

ステッチカウンターの使用

縫製 ▶ 編集 ▶ ステッチカウンター

前提条件：

- ステッチパターンが選択されます。

1. ステッチカウンター アイコンをタップします。

⇒ 情報バーにステッチカウンター と繰り返し アイコンが表示され、返し縫い アイコンが点滅します。



2. 希望する長さを縫います。

3. 返し縫い ボタンを押します。

⇒ ステッチカウンター 表示が自動に変わり、保存された縫い目の長さが表示されます。

⇒ ステッチパターンが再び縫われるとすぐに、保存されたステッチ数の後にミシンが停止します。

⇒ ステッチ数は上書きまたはクリアされるまで保存されます。

4. 機能を無効にした後、保存されたステッチ数にアクセスするには、自動 が表示されるまでステッチカウンター アイコンを2回タップします。



6.3 ボタンホール

ボタンホールに対して、ボタンホールの長さを設定できます。「ボタンホールステッチ」を選択するとすぐに、ボタンホールの長さのモードが編集メニューに表示されます。

選択したモードはソーイング画面に表示されます。



ボタンホールの長さ

縫製 ▶ 編集

ボタンホールの長さを設定するには、次のモードを使用できます：

- **記録 mm REC** ：ボタンホールの長さをmm単位でプログラムします。▶参照ページ: 38]
- **自動長さ** ：ボタンホールの長さをボタンのサイズに合わせて調節します。▶参照ページ: 38]
- **ステッチカウンター** ¹²³ REC：ボタンホールの長さをステッチカウンターでプログラムします。▶参照ページ: 38]
- **手縫い** man：ボタンホールを手動で縫います。▶参照ページ: 39]

ボタンホールの長さをmm単位で記録する

縫製 ▶ 編集 ▶ 記録 mm REC

記録 mm REC モードでは、ミシンは最初のビーズの縫い付け長さを測定し、それを保存します。ミシンがボタンホールを自動的に仕上げます。

前提条件：

- ボタンホールがロードされます。
 - ボタンホール押え#3Aが取り付けられています。
1. **記録 mm REC** アイコンをタップします。
 - ⇒ ソーイング画面で、**逆行します J** アイコンが点滅します。
 2. 最初のビーズを縫い付けて、**返し縫い J** ボタンを希望の長さで押します。
 - ⇒ ミシンがボタンホールを完成させます。
 - ⇒ ミシンは**ボタンサイズ** モードに切り替わり、すべての追加のボタンホールは自動的にmm単位で表示された長さで縫製されます。
 - ⇒ ボタンホールの長さは、上書きされるか、消去されるか、またはミシンの電源がオフになるまで保存されたままになります。

ボタンのサイズに合わせてボタンホールの長さを調整する

縫製 ▶ 編集 ▶ 自動長さ

自動長さ モードでは、ボタンの直径を測定できます。ミシンはボタンのサイズに合わせて、ボタンホールの長さを自動的に調整します。

前提条件：

- ボタンホールがロードされます。
 - ボタンホール押え#3Aが取り付けられています。
1. **自動長さ** アイコンをタップします。
 2. 画面上の測定円の中にボタンを置き、**ステッチの幅** キーで測定円の大きさをボタンの大きさに合わせる。
 - ⇒ 測定されたボタンホールの長さはソーイング画面に表示されます。
 3. ボタンホールを縫製します。
 - ⇒ ボタンホールの長さは、上書きされるか、消去されるか、またはミシンの電源がオフになるまで保存されたままになります。

ステッチカウンターでボタンホールの長さをプログラミングする

縫製 ▶ 編集 ▶ ステッチカウンター ¹²³ REC

ボタンホール押え#3を使用して、**ステッチカウンター** ¹²³ REC モードでボタンホールの長さをプログラムすることができます。ミシンは左のビーズと下側のバータックを前進で縫い、右のビーズを後進で縫い、最後に上側のバータックを縫い付けます。右ビーズの長さは左ビーズの長さに合わせて自動的に調整されないため、別途プログラムする必要があります。

前提条件：

- ボタンホールがロードされます。
 - ボタンホール押え#3が取り付けられています。
1. **ステッチカウンター** ¹²³ REC アイコンをタップします。
 2. 左のビーズを縫い、希望の長さで止めます。
 - ⇒ ソーイング画面で、**逆行します J** アイコンが点滅します。
 3. **返し縫い J** ボタンを押します。
 - ⇒ ミシンは下のバータックを縫い、逆方向に右のビーズを縫い始めます。
 - ⇒ ソーイング画面で、**逆行します J** アイコンが点滅します。

4. 左のビーズを最初のステッチの高さで止め、**返し縫い J** ボタンを押します。
 - ⇒ ミシンが上側のバータックを縫います。
 - ⇒ ビーズの長さが保存されます。
 - ⇒ 追加のボタンホールはすべて、保存されたステッチ数で縫製されます。
 - ⇒ ボタンホールの長さは、上書きされるか、消去されるか、またはミシンの電源がオフになるまで保存されたままになります。

ボタンホールを手縫いする

縫製 ▶ 編集 ▶ 手縫い

手縫い モードでは、セグメントごとにボタンホールを縫うことができます。ボタンホールの個々のセグメントは、ボタンホールバーに表示されます。セグメントを縫うたびに、**返し縫い J** ボタンを押すと次のセグメントに移動できます。



1 ボタンホールバー

前提条件：

- ボタンホールがロードされます。
 - ボタンホール押え#3が取り付けられています。
1. **手縫い** アイコンをタップします。
 - ⇒ 個々のセグメントはボタンホールバーに表示されます。
 - ⇒ セグメント1はアクティブです。
 2. 左のボタンホールのビーズを縫い、希望の長さでミシンを止めます。
 - ⇒ 縫製中はセグメント2がアクティブになります。
 3. 次のセグメントに切り替えるには、**返し縫い J** ボタンをタップするか、ミシンを止めてボタンホールバーで次のセグメントを選択します。
 4. ボタンホールをセグメントごとに縫い終わります。

6.4 繕い縫いプログラム

ダーニングプログラムでダーニングの長さを設定できます。「ダーニングステッチ」を選択するとすぐに、編集メニューにダーニング長さのモードが表示されます。

選択したモードはソーイング画面に表示されます。



ダーニング長さ

縫製 ▶ 編集

ダーニング長さを設定するには、次のモードを使用できます：

シンプルダーニングプログラム 番 22の場合：

- **ステッチカウンター** : ステッチカウンターでダーニングの長さをプログラムします。[▶ 参照ページ: 39]

補強ダーニングプログラム 番 23の場合：

- **記録 mm** : ダーニングの長さをmm単位でプログラムします。[▶ 参照ページ: 39]
- **自動長さ** : 自動ダーニングの長さを設定します。[▶ 参照ページ: 40]

ステッチカウンターでダーニングの長さを縫う

縫製 ▶ 編集 ▶ ステッチカウンター

ステッチカウンター モードでは、ミシンは最初に縫った長さのステッチ数をカウントして、保存します。ミシンは、ダーニングプログラムを自動的に終了します。

前提条件：

- ダーニングプログラム番 22がロードされます。
 - 押え金#1が取り付けられています。
1. **ステッチカウンター** アイコンをタップします。
 - ⇒ スクリーン画面で、**逆行します J** アイコンが点滅します。
 2. 最初の列を縫い、希望の長さで**返し縫い J** ボタンを押します。
 - ⇒ ミシンは、繕い縫いプログラムを完了します。
 - ⇒ 繕い縫いの長さは、上書きされるか、消去されるか、またはミシンの電源がオフになるまで保存されたままになります。

ダーニングの長さをmm単位で記録する

縫製 ▶ 編集 ▶ 記録 mm

記録 mm モードでは、ミシンが縫い合わせた長さを測定して保存します。ミシンは、ダーニングプログラムを自動的に終了します。

前提条件：

- ダーニングプログラム 番 23がロードされます。

- ボタンホール押え#3Aが取り付けられています。
- 1. 記録  アイコンをタップします。
 - ⇒ ソーイング画面で、逆行します J アイコンが点滅します。
- 2. 最初の列を縫い、希望の長さで返し縫い J ボタンを押します。
 - ⇒ ミシンは、縀い縫いプログラムを完了します。
 - ⇒ 縀い縫いの長さは、上書きされるか、消去されるか、またはミシンの電源がオフになるまで保存されたままになります。

自動的に縀い縫いの長さを縫う

縫製  ▶ 編集  ▶ 自動長さ 

自動長さ  モードでは、縀い縫いの長さをmm単位で設定できます。ミシンは、設定された縀い縫いの長さで自動的に縀い縫いプログラムを終了します。

前提条件：

- 縀い縫いプログラム番 23が呼び出されます。
- ボタンホール押え#3Aが取り付けられています。
- 1. 自動長さ  アイコンをタップします。
 - ⇒ ソーイング画面で、逆行します J アイコンが点滅します。
- 2. 最初の列を縫い、希望の長さで返し縫い J ボタンを押します。
 - ⇒ ミシンは、縀い縫いプログラムを完了します。
 - ⇒ 縀い縫いの長さは、上書きされるか、消去されるか、またはミシンの電源がオフになるまで保存されたままになります。

6.5 ステッチパターン管理

ステッチパターンを読み込む

縫製  ▶ 個人フォルダ  ▶ ステッチパターンを読み込む 

ステッチパターンを読み込む  機能を使用して、フォルダ個人フォルダ  から自分独自のステッチパターンをアップロードできます。

ステッチパターンを保存する

縫製  ▶ 個人フォルダ  ▶ ステッチパターンを保存する 

ステッチパターンを保存する  機能を使用して、変更したステッチパターンを自分独自のステッチパターンとしてフォルダ個人フォルダ  に保存できます。これを行うには、ステッチパターンを保存するフォルダを選択する必要があります。

ステッチパターンを削除

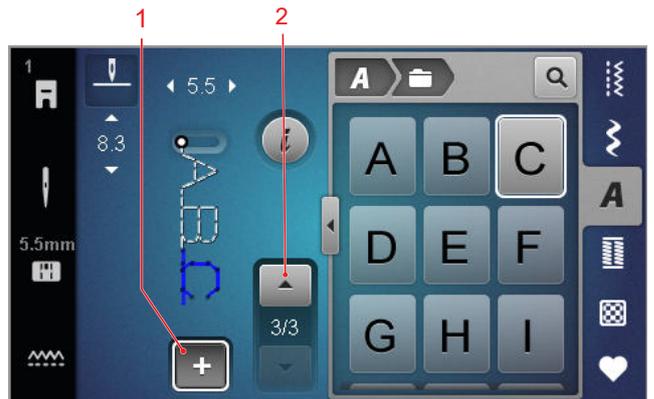
縫製  ▶ 個人フォルダ  ▶ ステッチパターンを削除 

ステッチパターンを削除  機能を使用して、フォルダ個人フォルダ  内のステッチパターンを削除できます。

6.6 ステッチパターンのコンビネーション

コンビモードに関して

コンビモードでは、ステッチパターンと文字を組み合わせて、ステッチパターンの組み合わせやレタリングを作成できます。ステッチパターンの組み合わせを保存し、1つのステッチパターンとして縫い付けることができます。



1 コンビモードに関して 2 ステッチパターンナビゲーション

ステッチパターンの組み合わせは、フルスクリーンモードでも作成できます。フルスクリーン表示では、アイコン（大文字と小文字、特殊文字）を使用してアルファベットのステッチを呼び出し、個々のステッチパターン間を移動して直接削除することができます。



ステッチパターンのコンビネーションの作成

縫製 ▶ コンビモードに関して **+**

1. ソーイング画面の**コンビモード**に関して **+** アイコンをタップします。
2. ファイルマネージャから希望のステッチパターンまたは文字を順番に組み合わせて、組み合わせを形成します。
 - ⇒ ステッチが選択された後でステッチパターンがコンビネーションバーに挿入され、プレビューで表示されます。
 - ⇒ コンビネーションは、縫製でき、保存できます。

編集機能

縫製 ▶ コンビモードに関して **+** ▶ **編集 *i***



編集 *i* 機能を使用して、個々のステッチパターンまたは全体のステッチパターンの組み合わせを編集します。

ミラー左/右

ミラー左/右 機能を使用すると、ステッチパターン組み合わせの選択したステッチパターンを垂直軸上でミラーリングします。

縫製 ▶ コンビモードに関して **+** ▶ **編集 *i*** ▶ **ミラー左/右**

ミラー上/下

縫製 ▶ コンビモードに関して **+** ▶ **編集 *i*** ▶ **ミラー上/下**

ミラー上/下 機能を使用すると、ステッチパターンの組み合わせの選択したステッチパターンを水平軸上でミラーリングします。

削除

縫製 ▶ コンビモードに関して **+** ▶ **編集 *i*** ▶ **削除**

削除 機能を使うと、コンビネーションから選択したステッチパターンを削除できます。

ステッチパターンのコンビネーションの編集

縫製 ▶ コンビモードに関して **+** ▶ **編集 *i*** ▶ **ステッチパターンのコンビネーションの編集**

編集メニューのサブメニュー**ステッチパターンのコンビネーションの編集**には、ステッチパターンのコンビネーション全体を編集するための追加機能が用意されています。

カーソル位置でコンビネーションを編集する

縫製 ▶ コンビモードに関して **+** ▶ **編集 *i*** ▶ **カーソル位置でコンビネーションを編集する**

編集メニューのサブメニュー**カーソル位置でコンビネーションを編集する** には、追加機能があります。カーソルの位置を使用して、どのステッチパターンのセクションの後に機能を挿入するかを決定できます。

ステッチパターンのコンビネーションの編集



繰り返し

縫製 ▶ コンビモードに関して **+** ▶ **編集 *i*** ▶ **ステッチパターンのコンビネーションの編集** ▶ **繰り返し**

繰り返し 機能を使用して、ステッチパターンのコンビネーションを何回繰り返したらミシンを停止するかを設定できます。9で反復数を設定できます。ソーイング画面に、まだ縫製されていない繰り返し数が表示されます。

ミラー左/右

縫製 ▶ コンビモードに関して **+** ▶ **編集 *i*** ▶ **ステッチパターンのコンビネーションの編集** ▶ **ミラー左/右**

ミラー左/右 機能を使うと、ステッチパターンのコンビネーションを垂直軸に沿ってミラーリングできます。

削除

縫製 ▶ コンビモードに関して **+** ▶ **編集 *i*** ▶ **ステッチパターンのコンビネーションの編集** ▶ **削除**

削除 機能を使うと、ステッチパターンのコンビネーション全体を削除できます。

カーソル位置でコンビネーションを編集する



タイオフ

縫製 ▶ コンビモードに関して **+** ▶ 編集 **i** ▶ カーソル位置でコンビネーションを編集する **⋮** ▶ タイオフ

タイオフ 機能を使用して、コンビネーション内の任意のステッチパターンの後に自動的に留め縫いを挿入できます。

ステッチパターンのコンビネーションの削除

縫製 ▶ 個人フォルダ ▶ ステッチパターンのコンビネーションの削除

ステッチパターンのコンビネーションの削除 機能を使用して、ステッチパターンの組み合わせを個人フォルダ フォルダから削除できます。

ステッチパターンのコンビネーションを読み込む

縫製 ▶ 個人フォルダ ▶ ステッチパターンのコンビネーションを読み込む

ステッチパターンのコンビネーションを読み込む 機能を使用して、個人フォルダ フォルダからステッチパターンの組み合わせをアップロードできます。

ステッチパターンのコンビネーションの保存

縫製 ▶ 個人フォルダ ▶ ステッチパターンのコンビネーションの保存

ステッチパターンのコンビネーションの保存 機能を使用して、ステッチパターンの組み合わせを個人フォルダ フォルダに保存できます。



布を縫い合わせる

2つの生地を1本の縫い目で接合すると、縫い目が形成されます。縫い目は、あらゆる衣服や縫製作品にとって不可欠な要素です。



<https://www.bernina.com/foot-1-sole>



シンプルな縫い目の仕上げ

布端の仕上げは、主に布端がほつれないように開いた縫い目を整えるために使用されます。



<https://www.bernina.com/foot-2-snap-on>



ボタンホールを縫う

ボタンホールソール#3を使用すると、追加の糸の挿入の有無に関係なく、必要な長さで美しいボタンホールを縫うことができます。



<https://www.bernina.com/foot-3-snap-on>



ファスナーを縫い付け

コンシールファスナーとは、開口部のスリットの端がファスナーの中央で重なり、ファスナーを隠すファスナーのことです。



<https://www.bernina.com/foot-4-snap-on>



ブラインドヘム仕上げ

ブラインドヘムは、ほとんどの衣類やカーテンに適した目につかない裾仕上げです。



<https://www.bernina.com/foot-5-snap-on>



アップリケ

アップリケは、背景の布地上に布の形を縫い付けて模様とした装飾です。サテンステッチまたは装飾ステッチを使用して、切りっぱなしの端を覆います。



<https://www.bernina.com/foot-20-snap-on>

8 メンテナンスとケア

8.1 ソフトウェア

ファームウェアの更新

設定  ▶ ミシン  ▶ メンテナンス  ▶ ファームウェアの更新  ▶ アップデート Update

ファームウェアの更新機能を使用して、お使いのミシンに最新バージョンのファームウェアをインストールできます。

ミシンの現在のファームウェアを更新でき、更新プロセスの詳細な作業手順説明書を www.bernina.com/325-support からダウンロードすることができます。

前提条件：

- 更新手順に従って、最新のファームウェアデータがダウンロードされ、USBメモリーにコピーされました。
- 1. 現在のファームウェアデータの入ったUSBメモリを挿入します。
- 2. アイコンをタップします。アップデート Update
⇒ ファームウェアのアップデートがインストールされる。

ユーザー個人のステッチパターンを削除する

設定  ▶ ミシン  ▶ 工場出荷時設定  ▶ 独自のステッチパターンを削除します 

独自のステッチパターンを削除します  機能を使うと、ミシンに保存されているすべてのユーザー個人のステッチパターンが削除されます。

ソーイング設定のリセット

設定  ▶ ミシン  ▶ 工場出荷時設定  ▶ ソーイング設定のリセット 

ソーイング設定のリセット  機能を使うと、ミシンに保存されているすべてのユーザー個人のソーイング設定が工場出荷時の設定にリセットされます。

全ての設定をリセットする。

設定  ▶ ミシン  ▶ 工場出荷時設定  ▶ 全ての設定をリセットする。 

全ての設定をリセットする。  機能を使うと、すべての設定を工場出荷時の設定にリセットできます。

データの保存と転送

設定  ▶ ミシン  ▶ メンテナンス  ▶ ファームウェアの更新  ▶ データの保存と転送

データの保存と転送機能を使用して、設定やユーザー個人のステッチパターンなどの個人データをUSBメモリーに保存し、ミシンに転送できます。

8.2 ミシン

ボタンホール押えのキャリブレーション

設定  ▶ ミシン  ▶ メンテナンス  ▶ ボタンホール押えのキャリブレーション 

布ガイド付き自動ボタンホール押え#3Aは、そのミシンに合わせて調整されているので、必ずそのミシンと一緒に使用する必要があります。新しいボタンホール押えは、初めて使用する前に、ソーイング設定でミシンに合わせて調整する必要があります。

前提条件：

- 針に糸が通っていません。
- 1. ボタンホール押えのキャリブレーション  設定を開きます。
- 2. 布ガイド付き自動ボタンホール押え#3A を取り付けて下げます。
- 3. スタート/ストップ  ボタンを押します。
⇒ ミシンは布ガイド付自動ボタンホール押えを前後に移動させ、適切なキャリブレーションを表示します。

メンテナンス間隔

お使いのミシンが今後何年にもわたって正常に動作し続けるように、ベルナナでは定期的なメンテナンスとお手入れを推奨しています。

メンテナンス間隔は主に以下の要因によって決まります。

- ミシンの使用頻度
- 使用する生地の種類
- ステッチ番号
- 使用する糸の種類

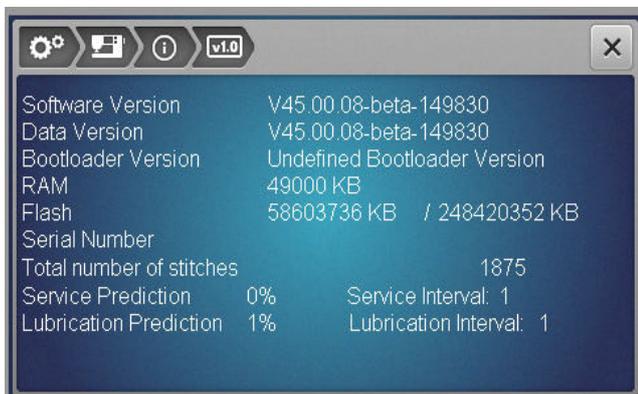
ベルナナでは、いっぱい巻かれた状態のボビン3～4個使用した後は、必ずミシンのメンテナンスを行うことを推奨しています。

8 メンテナンスとケア

タスク	メンテナンス間隔	寸法
ミシンの清掃	ミシンの使用状況に応じて定期的に。	▶ 柔らかく少し湿らせたマイクロファイバーの布で、ミシンと画面の表面を拭きます。
ミシンの点検	ミシンの使用状況に応じて定期的に。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミシンの外部に損傷がないか確認してください。 2. 損傷があった場合は、ベルニナ販売店にご連絡ください。
送り歯と針板の清掃	ミシンの使用状況に応じて定期的に。	▶ 送り歯を清掃します。 [▶ 参照ページ: 46]
フックの清掃	ミシンの使用状況に応じて定期的に。	▶ 中釜を掃除します。
針の交換	ミシンの使用状況に応じて定期的に。	▶ 針を交換してください。 [▶ 参照ページ: 20]
ファームウェアの更新	新しいバージョンが利用可能になり次第。	▶ ファームウェアを更新します。 [▶ 参照ページ: 44]
フックの潤滑	<ul style="list-style-type: none"> ■ 初めてミシンを使用する前に。 ■ ミシンを長期間使用しなかった後。 ■ すべての新しいプロジェクトの前に。 プロジェクトの範囲に応じて、プロジェクト中に随時発生します。 ■ ミシンの使用状況に応じて定期的に。 ■ 該当するメッセージが表示された場合。 ■ ボビン部分で異常な音がする場合。 	▶ 中釜に潤滑油を差します。 [▶ 参照ページ: 47]
ミシン内部の部品の調整、清掃、潤滑	<ul style="list-style-type: none"> ■ 集中使用の場合：毎年 ■ 通常使用の場合：2年ごと ■ 該当するメッセージが表示された場合。 	▶ ベルニナ販売店にお問い合わせください。

メンテナンス情報

設定  ▶ ミシン  ▶ 情報  ▶ ミシンデータ 



ステッチ数

総ステッチ数通知は、ミシンで縫ったステッチの数を示します。

整備予測/サービス間隔

保守予測 / 保守間隔通知は、メンテナンス間隔のどの部分が経過したかを示します。メンテナンス予測が100%に達すると、ミシンの起動時に対応するメッセージが表示され、ミシンのメンテナンスが必要になります。

注油予測/注油間隔

給油予測 / 給油間隔通知は、潤滑間隔がどのくらい経過したかを示します。メンテナンス予測が100%に達すると、ミシンの起動時に対応するメッセージが表示され、ミシンに給油する必要があります。

画面の清掃

1. 画面をロックします。
2. 柔らかい、少し湿らせたマイクロファイバーの布で画面を拭いてください。

送り歯の清掃

糸くずが、徐々に針板の下にたまります。糸くずは定期的に取り除きます。

1. 針と押え金を上げます。
2. 送り歯を下げます。

⚠ 注意

電動部品の取り扱いについて

針と釜の部分でけがをするおそれがあります。

- ▶ ミシンの電源を切り、電源コードをプラグから外しておきます。

3. 針と押え金を取り外します。
4. 針板を取り外します。

注意

ミシンの中にたまったゴミや糸くず
機械部品と電子部品の損傷。

- ▶ 刷毛や柔らかい布を使用します。
- ▶ 圧縮空気スプレーは使用しないでください。

5. 送り歯をブラシで掃除します。

釜を掃除する

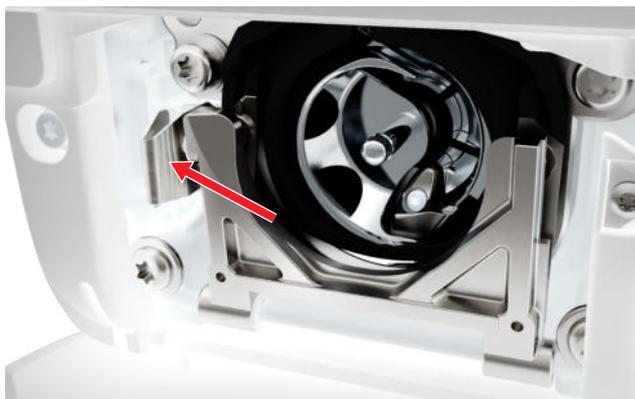
⚠ 注意

電動部品の取り扱いについて

針と釜の部分でけがをするおそれがあります。

- ▶ ミシンの電源を切り、電源コードをプラグから外しておきます。

1. 釜カバーを開けます。
2. ボビンケースを取り出します。
3. 取り外しレバーを左に押しします。



4. 固定ブラケットを黒いフックレースカバーと一緒に折り畳みます。
5. 中釜を取り出します。

注意

ミシンの中にたまったゴミや糸くず
機械部品と電子部品の損傷。

- ▶ 刷毛や柔らかい布を使用します。
- ▶ 圧縮空気スプレーは使用しないでください。

6. フックレース部分をブラシと柔らかい布で汚れをふき取ります。先の尖った器具は決して使用しないでください。

8 メンテナンスとケア

7. 中釜の中央のピンを指でつまみます。



8. フックを挿入し、必要に応じて、フックドライバーが左側に来るまでハンドホイールを回します。
 9. リリースブラケットがかみ合うまで、釜カバーと固定ブラケットを閉じます。
 10. ハンドホイールを回して確認します。
 ⇨ 中釜は回転します。
 11. ボピンケースを挿入し、ボピンカバーを閉じます。

フックの潤滑

フックに潤滑剤を塗ると、ミシンはスムーズかつ静かに作動します。

⚠ 注意

電動部品の取り扱いについて

針と釜の部分でけがをすることがあります。

- ▶ ミシンの電源を切り、電源コードをプラグから外しておきます。

1. 釜カバーを開けます。
2. ボピンケースを取り出します。
3. 取り外しレバーを左に押します。
4. 固定ブラケットを黒いフックレースカバーと一緒に折り畳みます。
5. 中釜を取り出します。



6. フックレース部分をブラシと柔らかい布で汚れをふき取ります。先の尖った器具は決して使用しないでください。

7. フックレースにベルニナオイルを一滴垂らします。



8. 中釜の中央のピンを指でつまみます。



9. フックを挿入し、必要に応じて、フックドライバーが左側に来るまでハンドホイールを回します。
 10. リリースブラケットがかみ合うまで、釜カバーと固定ブラケットを閉じます。
 11. ハンドホイールを回して確認します。
 ⇨ 中釜は回転します。
 12. ボピンケースを挿入し、ボピンカバーを閉じます。
 13. 余分な油を吸収するためにテスト用の布を縫い付けます。

ログファイルをエクスポートする

設定 ⚙ ▶ ミシン 🧵 ▶ 情報 ⓘ ▶ サービスデータ 📄

ログファイルは、サービス担当者がファームウェアのエラーを見つけるのに役立ちます。ベルニナサービスから要求された場合は、ログファイルをエクスポートできます。

1. USBメモリーをミシンに挿入します。
2. エクスポートが完了するまで待ち、ログファイルの保存を確認します。
3. ウィンドウを閉じます。

画面が反応しない

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 画面がロックされています。 | ▶ 画面のロックを解除します。[▶ 参照ページ: 13] |
| 画面に不具合があるか、正しく接続されていません。 | ▶ ベルニナ販売店にお問い合わせください。 |
| タッチスクリーンペンが不適切です。 | ▶ 他のタッチスクリーンペンまたは指を使用してください。 |

目飛び

- | | |
|---------------------|--|
| 針が間違っています。 | ▶ 針の番手130/705Hを使用してください。 |
| 針先が鈍い、または針が曲がっています。 | ▶ 針を交換してください。 |
| 針の品質に問題があります。 | ▶ 新品のベルニナ高品質針をお使いください。 |
| 針が正しく装着されていません。 | ▶ 針を平らな面を後ろ側にして、針ホルダーにできるだけ奥まで挿入し、ネジを締めます。 |
| 針の針先形状が不適当です。 | ▶ 布地に合った針先形状の針を使ってください。 |
| 針と糸の組み合わせが不適切です。 | ▶ 適切な針サイズの針を使用してください。[▶ 参照ページ: 18] |

速度が低すぎる

- | | |
|-------------------|---|
| 室温が高すぎる、または低すぎます。 | ▶ 使用する前に、ミシンを暖かい部屋に移動して一時間ほど放置してみてください。 |
| 最高速度が低下しました。 | ▶ スピードコントロールを右に移動します。
▶ 設定で最大ソーイングスピードを変更します。
[▶ 参照ページ: 28] |

ミシンが起動しない

- | | |
|-------------------|---|
| ミシンが電源に接続されていません。 | ▶ 電源プラグをソケットとマシンに差し込みます。
▶ ソケットの電源を確認してください。 |
| 室温が高すぎる、または低すぎます。 | ▶ 使用する前に、ミシンを暖かい部屋に移動して一時間ほど放置してみてください。
▶ ミシンを接続して電源を入れます。 |
| ミシンが壊れています。 | ▶ ベルニナ販売店にお問い合わせください。 |

針折れ

- | | |
|-----------------|--|
| 針が正しく装着されていません。 | ▶ 針を平らな面を後ろ側にして、針ホルダーにできるだけ奥まで挿入し、ネジを締めます。 |
| 布地が引っ張られています。 | ▶ 均等に布地を送ります。 |

9 トラブルシューティング

針折れ

厚手の生地が押し込まれています。

- ▶ 厚手の生地用のジーンズ押え #8などの適切な押え金を使用してください。
- ▶ 厚い縫い目の上を縫うときは、高さ補正ツール（高さ調節板）を使用します。

糸に結び目があります。

- ▶ 良質の糸を使用してください。

ソーイングライトが点灯しない

ソーイングライトのスイッチが入っていません。

- ▶ 設定でソーイングライトをオンにします。[▶ 参照ページ: 27]

ソーイングライトに不具合があります。

- ▶ ベルニナ販売店にお問い合わせください。

ステッチの目が揃わない

上糸調子ダイヤルに糸くずが挟まっています。

- ▶ 薄い布を折り（外側の端は使用しないでください）、数回引っ張ってテンションディスクに通します。

糸通しが不適切です。

- ▶ 上糸と下糸を再度通します。

上糸が通っていない

針が正しく装着されていません。

- ▶ 針を平らな面を後ろ側にして、針ホルダーにできるだけ奥まで挿入し、ネジを締めます。

糸通しヘッドに欠陥があります。

- ▶ ベルニナ販売店にお問い合わせください。

上糸が切れる

針と糸の組み合わせが不適切です。

- ▶ 糸の番手に適切な針の番手を選びます。

上糸の張りが強すぎます。

- ▶ 上糸調子を緩くします。

糸通しが不適切です。

- ▶ 上糸を再度通します。

糸の品質が劣っています。

- ▶ 良質の糸を使用してください。

針板または中釜の剣先が傷ついています。

- ▶ 傷を修理するには、ベルニナ販売店にお問い合わせください。
- ▶ 針板を交換してください。

ステッチ幅が調節できない

選択した針と針板を組み合わせ使用できません。

- ▶ 針を交換してください。
- ▶ 針板を交換してください。

縫い目が一定でない

上糸がきつすぎるか緩すぎます。

- ▶ 上糸調子を調整します。
- ▶ 糸巻きからの糸の送りを確認します。

縫い目が一定でない

- | | |
|----------------------|--|
| 針先が鈍い、または針が曲がっています。 | ▶ 針を交換し、新品のベルニナ高品質の針が使用されているか確認してください。 |
| 針の品質に問題があります。 | ▶ 新品のベルニナ高品質針をお使いください。 |
| 糸の品質が劣っています。 | ▶ 良質の糸を使用してください。 |
| 針と糸の組み合わせが不適切です。 | ▶ 糸の番手に適切な針の番手を選びます。 |
| 糸通しが不適切です。 | ▶ 上糸を再度通します。
▶ 下糸を再度通します。 |
| 布地が引っ張られています。 | ▶ 均等に布地を送ります。 |
| 不適切なボビンケースが使用されています。 | ▶ 付属のボビンケースを使用してください。 |
| 下糸がきつすぎるか、緩すぎます。 | ▶ ベルニナ販売店にお問い合わせください。 |

下糸が切れる

- | | |
|---------------------|--|
| ボビンケースが損傷しています。 | ▶ ボビンケースを交換します。 |
| 針板の針穴周りに傷がついています。 | ▶ 傷を修理するには、ベルニナ販売店にお問い合わせください。
▶ 針板を交換してください。 |
| 針先が鈍い、または針が曲がっています。 | ▶ 針を交換してください。 |

メッセージ	原因	解決策
BERNINA USBメモリー（オプションアクセサリ）の空き容量が足りません。	USBメモリーに十分な空き容量がありません。	▶ USBメモリーからデータを削除してください。
ユーザーデータの回復に失敗しました。	ファームウェアのアップデートは成功しましたが、ユーザーデータは回復できませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. データと設定がUSBメモリーに保存されていることを確認します。 2. 保存したデータをミシンに転送します。
BERNINA USBメモリーが挿入されていません。自動更新プロセス全体を通じて、同じBERNINA USBメモリーが接続されたままになっていることを確認してください。	USBメモリーが挿入されていない。	▶ 十分な空きメモリを備えたBERNINA USBメモリーを使用してください。
ファームウェアのアップデートに失敗しました。	USBメモリーに最新のファームウェアバージョンが見つかりません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファームウェアのアップデートのために、圧縮されたzipファイルが解凍されていることを確認してください。 2. ソフトウェア更新のデータがUSBメモリー上のファイルではなく、データ媒体に直接保存されているかどうかを確認します。 3. ファームウェアを更新しています。
整備間隔に到達：長期に渡って正常に作動する状態を保証するためには、最寄りのベルニナ販売店でミシンの整備を受ける必要があります。	このミシンにはメンテナンスが必要です。プログラムされた保守間隔に達すると、このメッセージが表示されます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. メッセージを閉じます。 2. ベルニナ販売店にお問い合わせください。 <p>3回閉じると、次の保守間隔に達するまでメッセージは表示されません。</p> <p>重要な情報：指示通りに清掃およびメンテナンス作業を実行すると、ミシンの機能性と耐用年数が長く続きます。遵守されない場合、耐用年数に悪影響が及ぶ可能性があり、保証サービスが制限されることがあります。保守作業にかかる費用の配分は国によって規制されています。詳細については、正規のベルニナ販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。</p>
#1002	針位置上下機能ボタンが固着しているか、不具合があります。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボタン操作が制限されていないことを確認してください。 2. それでもエラーが解消しない場合は、ベルニナ販売店にお問い合わせください。
#1003	スタート/ストップボタンが固着しているか、不具合があります。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボタン操作が制限されていないことを確認してください。 2. それでもエラーが解消しない場合は、ベルニナ販売店にお問い合わせください。
#1004 #1005 #1010	故障の正確な原因を特定できません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミシンを再起動してください。 2. それでもエラーが解消しない場合は、ベルニナ販売店にお問い合わせください。

11 収納と処分

11.1 ミシンを収納する

BERNINAは、ミシンを納品時の梱包で保管することを推奨します。ミシンを寒い部屋で保管している場合、使用する1時間前に暖かい部屋に置いてください。

1. ミシンのスイッチを切り、電源からコードを外します。
2. ミシンを清掃してください。
3. ミシンは戸外で保管しないでください。
4. 気候の影響からミシンを保護してください。

11.2 ミシンを処分する

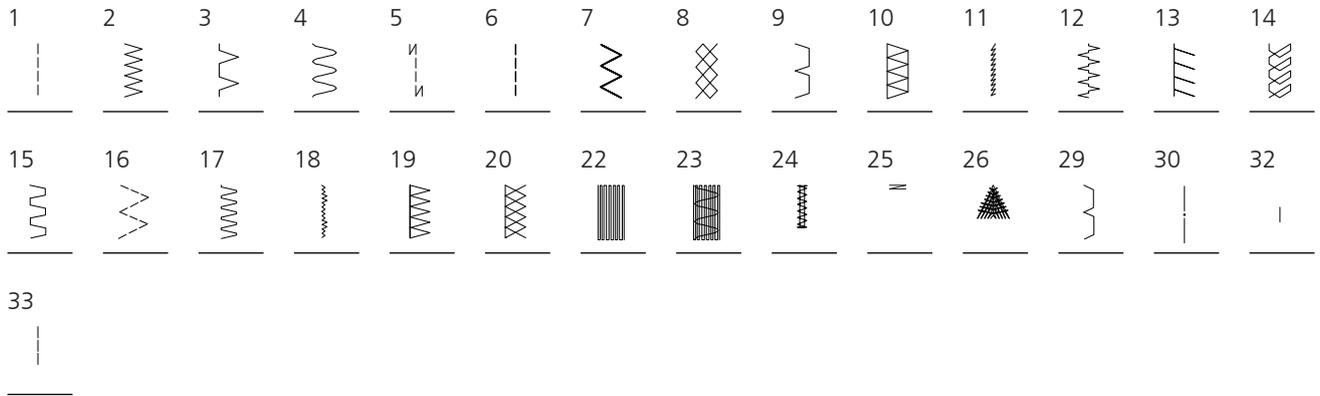
1. ミシンの中の個人データを削除します。
2. 部品を材料別に分類し、現地の法律および規制に従って廃棄してください。

12 技術データ

用語	値	単位
最高速度	900	1分あたりのステッチ数
針システム	130/705	
糸立て棒なしの寸法（幅×奥行き×高さ）	385 × 323 × 177 (15.2 × 12.7 × 7.0)	mm (インチ)
ミシンの重量	8.0 (17.6)	kg (ポンド)
エネルギー消費	100	W
入力電圧	100 – 240 50/60	V ヘルツ
保護クラス（電気技術）	II	

13 ステッチパターン

13.1 実用縫い

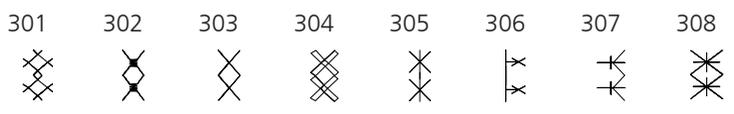


13.2 飾り縫い

ネイチャー



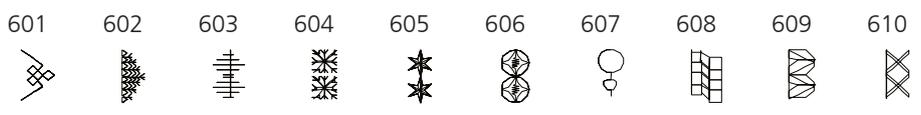
クロスステッチ



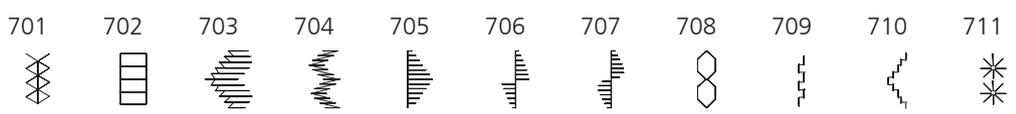
サテン



幾何学模様

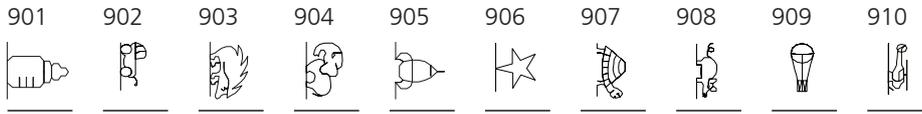


ヘアローム



13 ステッチパターン

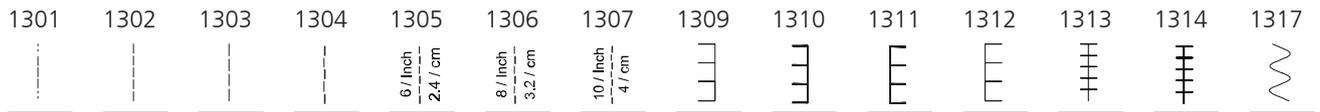
子供用モチーフ



13.3 ボタンホール



13.4 キルトステッチ



記号		
調整中		
ステッチの長さ	29	
ステッチ幅	29	
調整		
押え圧	26	
シームガイド	17	
調整する		
ステッチの長さ	36	
ステッチ幅	36	
アルファベット		
縫製	30	
取り付け		
押え金	25	
針板	18	
針	20	
取り付け		
シームガイド	17	
安全上の注意事項		4
環境保護について		6
記号の説明		6
送り長さを変えてみる		36

B

下糸	
糸巻き	24
糸を通す	25
ボタンホール	
編集	37
ボタン	
開始/停止	10
クイックリバース	10
固定	10
パターン終了	10
針位置 上/下	10
針位置 左/右	10

C

交換	
押え足底	26
押え金	25
針板	18
針	20
クリーニング	
画面	46
清掃	
送り歯	46
CLR	10
カーソル位置のコンビネーション\	
編集	41
組み合わせ	
針糸	18
組み合わせる	
ステッチパターン	40
Connecting	
フットコントローラー	16

D

ダーニングプログラム	
編集	39
データ	
保存	44

削除

ステッチパターン	40
ステッチパターンのコンビネーションのステッチ パターン	41
ステッチパターンのコンビネーション	42
編集機能のステッチパターン	41
ユーザー個人のステッチパターン	44
ディスプレイ	
押え金	29
針板	29
針上下停止	29
針	29
画面	
送り歯上/下	30

E

編集\	
カーソル位置のコンビネーション	41
編集	
ダーニングプログラム	39
ボタンホール	37
編集	
ステッチパターン	29, 36
ステッチパターン組み合わせ	41

F

送り歯上/下	
画面	30
設定	30
送り歯	
清掃	46
ファイルマネージャー	
ソーイングモードクイックアクセスバー	30
ファイルマネージャー	
ステッチパターン	30
取り付け	
押え足底	26
フットコントローラー	
接続	16

H

フック	
クリーニング	46
潤滑	47

I

アイコンバー	
ファイルマネージャー	30

L

読み込み	
ステッチパターン	36
読み込み中	
独自のステッチパターン	30
保存したステッチパターン	30

M

ミシン	
スイッチオン/オフ	16
ミラー 左/右	
ステッチパターン組み合わせ	41

- ミラー 上/下
ステッチパターン組み合わせにおけるステッチパターン 41
- ミラー
ステッチパターン 37
ステッチパターンのコンビネーション 41
- N**
- ナビゲーションバー
ステッチの選択 30
- 針位置 左/右
ボタン 10
- 針位置 上/下
ボタン 10
- 針止め
上/下 21
設定 29
ディスプレイ 29
- 針糸
組み合わせ 18
- 針
交換 20
サイズ 18
設定 29
選択 20
ディスプレイ 29
取り付け 20
- O**
- 概要
押え金 26
- P**
- パターン終了
ボタン 10
- ユーザー個人のステッチパターン
削除 44
- ミシンを準備
ソーイング 16
- 押え圧
調整 26
- 押え足底
交換 26
取り付け 26
- 押え金
概要 26
交換 25
ディスプレイ 29
取り付け 25
- Q**
- クイックリバー
ボタン 10
- R**
- リセット
設定 10, 44
ソーイング設定 44
- S**
- 保存したステッチパターン
個人フォルダ 30
- 保存
個人データ 44
ステッチパターン 40
ステッチパターンのコンビネーション 42
- 画面
画面の配色設定 28
クリーニング 46
背景の設定 28
- シームガイド
調整 17
取り付け 17
取り外し 17
- 固定
ボタン 10
- 留め縫い
ステッチパターンのコンビネーション 42
- 選択
針板 20
針 20
- 選択
アルファベット 30
キルトステッチ 30
実用的なステッチ 30
ステッチパターン 36
装飾ステッチ 30
独自のステッチパターン 30
保存したステッチパターン 30
ボタンホール 30
文字 30
- 設定
上糸調子、ソーイング 28
ソーイングスピード 28
背景 28
ようこそメッセージ 28
- 設定
送り歯上/下 30
画面の色 28
言語 27
針板 29
針上下停止 29
針 29
- ソーイングライト
オン/オフの切り替え 27
- ソーイング設定
リセット 44
- ソーイングスピード
設定 28
- サイズ
針 18
- 開始/停止
ボタン 10
- ステッチカウンター
使用 37
- ステッチの長さ
調整中 29
- ステッチパターンのコンビネーション
アップロード 42
削除 42
留め縫い 42
保存 42
ミラー 41
- ステッチパターン組み合わせ
編集 41
- ステッチパターン組み合わせにおけるステッチパターン
ミラー 上/下 41
ミラー 左/右 41

ステッチパターン	
組み合わせ	41
ステッチパターン	
アップロード	40
組み合わせる	40
個人フォルダ	30
コンビモード	40
削除	40
ステッチカウンター	37
選択	36
パターンの繰り返し	37, 41
バランスの最適化	37
ファイルマネージャー	30
編集	29, 36
保存	40
ミラー	37
読み込み	36
針板	
交換	18
設定	29
選択	20
ディスプレイ	29
取り付け	18
ステッチの選択	
ナビゲーションバー	30
ステッチ幅	
調整する	36
調整中	29
オン/オフの切り替え	
ソーイングライト	27
スイッチオン/オフ	
ミシン	16

T

スレッド	
下糸	25
糸を通す	
一本針	21
三本針	23
二本針	23

U

アップロード	
ステッチパターン	40
ステッチパターンのコンビネーション	42
上糸調子	
設定、ソーイング	28
上糸	
一本針に糸を通す	21
糸かけ	21
三本針に糸を通す	23
二本針に糸を通す	23
ユーザーインターフェースの操作	
タッチジェスチャー	12

あ

アルファベット	33
---------	----

い

糸通し器	21
------	----

え

エラーメッセージ	51
----------	----

お

送り歯を上げる/下げる	27
送り歯	27

か

飾りステッチ	33
--------	----

き

技術仕様	53
機能ボタン	9
キルトステッチ	30, 35

く

クイックヘルプ	14
---------	----

け

言語	27
----	----

こ

コンサルタント	14
コントロール	9
コンビモード	40

さ

三本針に糸を通す	23
----------	----

し

下糸	24
実用的なステッチ	30
実用縫い	31

す

ステッチカウンター	37
スピードコントロール	10
スライドテーブル	17

せ

設定をリセット	44
---------	----

そ

装飾ステッチ	30
ソーイング画面	29
ソーイングスピード	10
ソーイングテーブル	17
ソーイングテクニック	43
ソフトウェアの更新	44

た

タッチジェスチャー	12
-----------	----

ち

チュートリアル	14
---------	----

て

電源コード 16

と

独自のステッチパターン 30
トラブルシューティング 48

に

ニードルマインダー 20
二本針に糸を通す 23

ぬ

布ガイド付き自動ボタンホール押えのキャリブレーション 44

は

パターンの繰り返し 37, 41
バランスの最適化 37
針板 17
針位置 上/下 21
針位置 左/右 21
針の概要 18
販売店データ 27

ふ

ファームウェアの更新 44
フットコントローラー 16

へ

ヘルプ 14

ほ

ホーム画面 13
ボタンホール 30, 34

み

ミシンの廃棄 52
ミシンの保管 52

め

メインスイッチ 16
メンテナンス情報 46

も

文字 30

よ

ログファイル 47

#A BIG DAY



BERNINA
made to create

BERNINAはメトラー系をお勧め致します

Mettler[®]